

平成30年度(一社)大阪府サッカー協会 事業報告

【継続事業】

1、強化育成・技術指導事業

(1) 事業開催の趣旨

強化育成事業は、各カテゴリー別(カテゴリーとはシニア・社会人・大学・高校生・中学生・小学生・女子に分かれており、登録別では、シニア・1種・2種・3種・4種・女子に分かれる)に選手を選考し、各地域でのトレーニングセンター(TC)・中央TCの選考を経て、大阪府を代表する選手・チームを編成し国際交流大会・国民体育大会に参加する。技術指導事業は、府内の各チームの指導者の技術の向上と指導方法の高揚、さらに強化育成部門の指導技術の向上を目指して行う事業。

1) 強化育成事業

(1) 国体選手強化事業

各チームより、優秀な選手を広く発掘し、大阪府代表の国民体育大会に参加する選手強化とチーム編成を図ることを目的とする。

| | | |
|-------|--------------------------|--|
| 事業コード | 012023 | |
| 事業名 | 国民体育大会女子選手強化及び近畿ブロック大会参加 | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (公財)日本体育大会・(一社)関西サッカー協会/(一社)和歌山県サッカー協会 |
| | ② 担当 | (一社)大阪府サッカー協会 技術委員会 |
| | ③ 日程 | 強化事業:平成30年4月~8月 国体近畿ブロック予選:平成30年8月18日~平成30年8月19日 |
| | ④ 場所 | 上富田スポーツセンター 田辺スポーツセンター |
| | ⑤ 対象 | 中学3年生を含む平成16年(2004年)4月1日以前に生まれた女子登録選手 |
| | ⑥ 目的 | 優秀な選手を発掘、育成、強化し大阪府代表として第73回国民体育大会(福井)出場を目指す |
| | ⑦ 方式 | 選考会、練習会、練習試合、大会参加(6府県でトーナメント方式1府県が本大会出場) |
| | ⑧ 参加数 | 6府県(各府県監督1名選手20名) 計126名参加 |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:3,027,600円 実支出:1,868,296円 |
| | ⑩ 結果(成果) | 1回戦シード、2回戦和歌山県に2-1で勝利。決勝兵庫県に1-0勝利し、本大会出場を決めた。 |

| | | |
|-------|----------------------------|--|
| 事業コード | 012024 | |
| 事業名 | 国民体育大会少年男子選手強化及び近畿ブロック大会参加 | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (公財)日本体育大会・(一社)関西サッカー協会/(一社)和歌山県サッカー協会 |
| | ② 担当 | (一社)大阪府サッカー協会 技術委員会 |
| | ③ 日程 | 強化事業:平成30年4月~8月 国体近畿ブロック予選:平成30年8月18日 |
| | ④ 場所 | 上富田スポーツセンター |
| | ⑤ 対象 | 中学3年生を含む平成16年(2004年)4月1日以前に生まれた者から、平成14年(2002年)1月1日以降に生まれた男子登録選手(U-16男子登録選手) |
| | ⑥ 目的 | 優秀な選手を発掘、育成、強化し大阪府代表として第73回国民体育大会(福井)出場を目指す |
| | ⑦ 方式 | 選考会、練習会、練習試合、大会参加(6府県でトーナメント方式3府県が本大会出場) |
| | ⑧ 参加数 | 6府県(各府県監督1名選手20名) 計126名参加 |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:3,481,700円 実支出:2,712,787円 |
| | ⑩ 結果(成果) | 滋賀県に3-0で勝利し本大会出場を決めた。 |

| | | |
|-------|----------------------------|---|
| 事業コード | 012025 | |
| 事業名 | 国民体育大会成年男子選手強化及び近畿ブロック大会参加 | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (公財)日本体育大会・(一社)関西サッカー協会/(一社)和歌山県サッカー協会 |
| | ② 担当 | (一社)大阪府サッカー協会 技術委員会 |
| | ③ 日程 | 強化事業:平成30年4月~8月 国体近畿ブロック予選:平成30年8月17日 |
| | ④ 場所 | 新宮やたがらす |
| | ⑤ 対象 | 平成13年(2001年)12月31日以前に生まれた男子登録選手 |
| | ⑥ 目的 | 優秀な選手を発掘、育成、強化し大阪府代表として第73回国民体育大会(福井)出場を目指す |
| | ⑦ 方式 | 選考会、練習会、練習試合、大会参加(6府県でトーナメント方式1府県が本大会出場) |
| | ⑧ 参加数 | 6府県(各府県監督1名選手20名) 計126名参加 |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:2,734,000円 実支出:1,296,244円 |
| | ⑩ 結果(成果) | 初戦で兵庫県に(1-2)で敗戦 本大会出場を逃す。 |

| | | |
|-------|----------|---------------------------------------|
| 事業コード | 012026 | |
| 事業名 | 国民体育大会女子 | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (公財)日本体育大会・(公財)日本サッカー協会/(一社)福井県サッカー協会 |
| | ② 担当 | (一社)大阪府サッカー協会 技術委員会 |
| | ③ 日程 | 平成30年10月1日～10月4日 |
| | ④ 場所 | 丸岡スポーツランド |
| | ⑤ 対象 | 中学3年生を含む平成16年(2004年)4月1日以前に生まれた女子登録選手 |
| | ⑥ 目的 | 第73回国民体育大会(福井)優勝 |
| | ⑦ 方式 | 各ブロック大会を勝ち抜いた都道府県でのトーナメント方式 |
| | ⑧ 参加数 | — |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:3,776,860円 実支出:1,772,726円 |
| | ⑩ 結果(成果) | 1回戦で愛媛県に(2-3)で敗戦。 |

| | | |
|-------|------------|--|
| 事業コード | 012027 | |
| 事業名 | 国民体育大会少年男子 | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (公財)日本体育大会・(公財)日本サッカー協会/(一社)福井県サッカー協会 |
| | ② 担当 | (一社)大阪府サッカー協会 技術委員会 |
| | ③ 日程 | 平成30年10月1日～10月5日 |
| | ④ 場所 | 三国運動公園人工芝グラウンド テクノポート福井総合公園 |
| | ⑤ 対象 | 中学3年生を含む平成16年(2004年)4月1日以前に生まれた者から、平成14年(2002年)1月1日以降に生まれた男子登録選手(U-16男子登録選手) |
| | ⑥ 目的 | 第73回国民体育大会(福井)優勝 |
| | ⑦ 方式 | 各ブロック大会を勝ち抜いた都道府県でのトーナメント方式 |
| | ⑧ 参加数 | — |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:3,828,000円 実支出:3,411,144円 |
| | ⑩ 結果(成果) | 2回戦を山口県に(3-1)で勝利。準々決勝で石川県に(1-2)で敗戦した。 |

(2) 大阪府トレーニングセンターの活動

各地域で開催されたトレーニングセンター(TC)において、U-11～16までの各カテゴリー別で選手を育成し、中央TCに選抜される選手を選考し、最終的に各カテゴリー別の大阪府を代表する選手・チームを編成する。

| | | |
|-------|--------------------|---|
| 事業コード | 012002 | |
| 事業名 | 大阪府テクニカルスタッフオープニング | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (一社)大阪府サッカー協会/技術委員会 |
| | ② 担当 | 技術委員会 |
| | ③ 日程 | 平成30年4月8日 |
| | ④ 場所 | 大阪市北区民センター2階ホール |
| | ⑤ 対象 | セントラルトレセンスタッフ・8地区トレセンスタッフ・キッズエリートスタッフ・指導者養成インストラクター・トレーナー |
| | ⑥ 目的 | 普及・育成・強化に関わるスタッフが一堂に会しオール大阪としての方向性の確認とビジョンの共有を図る |
| | ⑦ 方式 | 各担当によるレクチャー |
| | ⑧ 参加数 | 245名の指導スタッフ |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:699,000円 実支出:273,480円 |
| | ⑩ 結果(成果) | 指導者の意識の統一、共有を図ることができた。 |

| | | |
|-------|----------|---------------------------------|
| 事業コード | 012003 | |
| 事業名 | 男女通常トレセン | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (一社)大阪府サッカー協会/技術委員会 |
| | ② 担当 | 技術委員会 |
| | ③ 日程 | 平成30年4月～平成31年3月 |
| | ④ 場所 | 万博スポーツ広場、セレッソ大阪南津守、J-GREEN堺 他 |
| | ⑤ 対象 | 男子U-11～U-16、女子U-11～U-18 |
| | ⑥ 目的 | 将来の日本代表を育成する |
| | ⑦ 方式 | トレーニング中心に活動 |
| | ⑧ 参加数 | 約300名の選手 |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:12,481,200円 実支出:9,507,717円 |
| | ⑩ 結果(成果) | 優秀な選手・指導者の発掘・育成を行えた。 |

| | | |
|-------|-----------|---|
| 事業コード | 012004 | |
| 事業名 | 8地区トレセン補助 | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (一社)大阪府サッカー協会/技術委員会 |
| | ② 担当 | 技術委員会 |
| | ③ 日程 | 平成30年4月～平成31年3月 |
| | ④ 場所 | 8地区トレセン各活動場所 |
| | ⑤ 対象 | 8地区トレセン |
| | ⑥ 目的 | 大阪府下加盟各チームから8地区において開催している地区トレセンに対し補助金を交付し、指導者確保等トレーニング環境のさらなる充実を図る(U11/12/13/14/15) |
| | ⑦ 方式 | 8地区トレセントレーニン活動 |
| | ⑧ 参加数 | 選手約550名 |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:2,020,000円 実支出:2,020,000円 |
| | ⑩ 結果(成果) | 指導者確保等トレーニング環境の充実を図ることができた。 |

| | | |
|-------|---------------|--|
| 事業コード | 012005 | |
| 事業名 | U-12モデル地区トレセン | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (公財)日本サッカー協会/(一社)大阪府サッカー協会 |
| | ② 担当 | 技術委員会 |
| | ③ 日程 | 平成30年4月～平成31年3月 |
| | ④ 場所 | 8地区トレセン各活動場所 |
| | ⑤ 対象 | 8地区トレセン |
| | ⑥ 目的 | 各地区トレセンにおいて、モデル地区トレセンを開催することにより、選手並びに地区指導者に対して高いレベルの指導を実践し、選手・指導者のレベルアップを図り、U12年代の環境改善を目指す |
| | ⑦ 方式 | 8地区トレセントレーニン活動 |
| | ⑧ 参加数 | 選手約200名 |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:640,000円 実支出:640,000円 |
| | ⑩ 結果(成果) | 選手および指導者のレベルアップを図ることができた。 |

| | | |
|-------|--------------|-----------------------------------|
| 事業コード | 012015 | |
| 事業名 | U-15関西女子トレセン | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (一社)関西サッカー協会/技術委員会 |
| | ② 担当 | 技術委員会 |
| | ③ 日程 | 平成30年4月～平成31年3月 |
| | ④ 場所 | J-GREEN堺 他 |
| | ⑤ 対象 | 関西6府県の女子トレセンU-15 |
| | ⑥ 目的 | 関西のサッカーのレベルアップを図る |
| | ⑦ 方式 | トレーニング |
| | ⑧ 参加数 | 関西6府県の女子トレセンU-15・U-12選手 約200名 |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:247,900円 実支出:32,440円 |
| | ⑩ 結果(成果) | 優秀な選手を発掘・育成しナショナルトレセンへ派遣することができた。 |

| | | |
|-------|----------------|--|
| 事業コード | 012018 | |
| 事業名 | 大阪府トレセンスタッフ研修会 | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (一社)大阪府サッカー協会/技術委員会 |
| | ② 担当 | 技術委員会 |
| | ③ 日程 | 平成31年2月17日・2月23日 |
| | ④ 場所 | J-GREEN堺 |
| | ⑤ 対象 | 大阪セントラルトレセンスタッフ及び地区トレセンスタッフ |
| | ⑥ 目的 | 将来の日本代表選手を育成するために、大阪の一貫指導の内容の確認と指導者の研修および選手の強化 |
| | ⑦ 方式 | 指導実践および講義、トレーニングと講義 |
| | ⑧ 参加数 | 指導者約160名 |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:1,462,000円 実支出:1,024,260円 |
| | ⑩ 結果(成果) | 指導者の意識の統一、レベルアップを図ることができた。 |

| | | |
|-------|-----------------|----------------------------------|
| 事業コード | 012020 | |
| 事業名 | 大阪府トレセンスタッフ国体視察 | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (一社)大阪府サッカー協会/技術委員会 |
| | ② 担当 | 技術委員会 |
| | ③ 日程 | 平成30年9月30日～10月4日 |
| | ④ 場所 | テクノポート福井総合公園・三国運動公園・丸岡スポーツランド |
| | ⑤ 対象 | 大阪府トレセンスタッフ |
| | ⑥ 目的 | 大阪府少年男子の国体視察し成果と課題の確認とトレセン活動への展開 |
| | ⑦ 方式 | 試合視察 |
| | ⑧ 参加数 | 指導者3名 |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:448,500円 実支出:328,834円 |
| | ⑩ 結果(成果) | 成果・課題・大阪の立ち位置を確認することができた。 |

(3)大阪で開催される男女のトレセンリーグへの参加、及び関西6府県で開催される関西トレセンリーグへの参加、各府県が開催する招待試合への参加。

| | | |
|-------|--------------|---|
| 事業コード | 007008 | |
| 事業名 | 大阪女子招待サッカー大会 | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (一社)大阪府サッカー協会/女子委員会 |
| | ② 担当 | 女子委員会 |
| | ③ 日程 | 平成30年11月23日・24日(2日間) |
| | ④ 場所 | J-GREEN堺 |
| | ⑤ 対象 | U-15年代 |
| | ⑥ 目的 | U-15年代のトレセン選手の育成と強化 |
| | ⑦ 方式 | 府県女子トレセンチーム等によるリーグ戦と技術講習会を合わせて実施 |
| | ⑧ 参加数 | 4チーム/100名 技術講習会(クバーコーチングサッカークリニック)35名(選手32名 指導者3名) |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:278,400円 実支出:302,887円 |
| | ⑩ 結果(成果) | 第1位:セレッソ大阪堺ガールズ 第2位:JFATレセン大阪女子U-15 第3位:奈良トレセン女子U-15 |

| | | |
|-------|-----------------|--|
| 事業コード | 012006 | |
| 事業名 | U-12 8地区トレセン交流戦 | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (一社)大阪府サッカー協会/技術委員会 |
| | ② 担当 | 技術委員会 |
| | ③ 日程 | 平成30年8月7日、平成31年2月10日 |
| | ④ 場所 | J-GREEN堺 |
| | ⑤ 対象 | セントラルトレセン、8地区トレセンU-12の選手 |
| | ⑥ 目的 | U-12の選手強化 |
| | ⑦ 方式 | 予選リーグ及び順位リーグ |
| | ⑧ 参加数 | 約220名の選手 |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:343,100円 実支出:323,454円 |
| | ⑩ 結果(成果) | 8地区に加えてセントラルトレセン選手を参加させ、U-12年代のトップが集う大会として実施できた。 |

| | | |
|-------|----------------|--|
| 事業コード | 012007 | |
| 事業名 | 大阪選抜U-13サッカー大会 | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (一社)大阪府サッカー協会/技術委員会 |
| | ② 担当 | 技術委員会 |
| | ③ 日程 | 平成30年11月17日 |
| | ④ 場所 | J-GREEN堺 |
| | ⑤ 対象 | 8地区トレセンU-13 |
| | ⑥ 目的 | 地区トレセン選手のレベルアップとともに関西招待サッカーに出場するチームを選抜する |
| | ⑦ 方式 | リーグ戦と順位決定トーナメント |
| | ⑧ 参加数 | 約160名の選手 |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:292,000円 実支出:297,020円 |
| | ⑩ 結果(成果) | 他地区、及び大阪全体の状況を把握し、良い刺激となって以降のトレーニングにつながった。 |

| | | |
|-------|----------------|--|
| 事業コード | 012008 | |
| 事業名 | 大阪選抜U-14サッカー大会 | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (一社)大阪府サッカー協会/技術委員会 |
| | ② 担当 | 技術委員会 |
| | ③ 日程 | 平成30年11月24日 |
| | ④ 場所 | J-GREEN堺 |
| | ⑤ 対象 | 8地区トレセンU-14 |
| | ⑥ 目的 | 地区トレセン選手のレベルアップとセントラルトレセン選手の選考 |
| | ⑦ 方式 | リーグ戦 |
| | ⑧ 参加数 | 約130名の選手 |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:292,000円 実支出:309,300円 |
| | ⑩ 結果(成果) | 他地区、及び大阪全体の状況を把握し、良い刺激となって以降のトレーニングにつながった。 |

| | | |
|-------|----------------|--|
| 事業コード | 012009 | |
| 事業名 | 大阪選抜U-15サッカー大会 | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (一社)大阪府サッカー協会/技術委員会 |
| | ② 担当 | 技術委員会 |
| | ③ 日程 | 平成30年10月28日 |
| | ④ 場所 | J-GREEN堺 |
| | ⑤ 対象 | 8地区トレセンU-15 |
| | ⑥ 目的 | 地区トレセン選手のレベルアップと京都招待サッカー大会に出場するチームを選抜する |
| | ⑦ 方式 | 予選リーグと順位決定トーナメント |
| | ⑧ 参加数 | 約120名の選手 |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:292,000円 実支出:285,540円 |
| | ⑩ 結果(成果) | 他地区、及び大阪全体の状況を把握し、良い刺激となって以降のトレーニングにつながった。 |

| | | |
|-------|-----------------|---|
| 事業コード | 012010 | |
| 事業名 | U-15京都府招待サッカー大会 | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (一社)京都府サッカー協会/技術委員会 |
| | ② 担当 | 技術委員会 |
| | ③ 日程 | 平成30年12月25日～12月27日 |
| | ④ 場所 | 京都府 山城運動公園 他 |
| | ⑤ 対象 | 関西6府県のセントラルトレセン、地区トレセン、選抜チーム、単独チームの男子U-15選手 |
| | ⑥ 目的 | サッカーを通して体力の向上、技術の向上を図る |
| | ⑦ 方式 | リーグ戦、順位決定トーナメント戦 |
| | ⑧ 参加数 | 20チーム 約400名 |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:167,900円 実支出:116,426円 |
| | ⑩ 結果(成果) | 3年間のトレセン活動の集大成として、その成果の確認を行った。 |

| | | |
|-------|-------------------------|---|
| 事業コード | 012011 | |
| 事業名 | 関西中学生選抜サッカー大会(ガンバカップ本戦) | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (一社)関西サッカー協会/(一社)大阪府サッカー協会 |
| | ② 担当 | 技術委員会 |
| | ③ 日程 | 平成31年1月12日・13日 |
| | ④ 場所 | 万博大阪サッカーグラウンド、J-GREEN堺 |
| | ⑤ 対象 | 関西6府県のU-13トレセン選抜、Jクラブ4チーム、大阪の地区トレセン代表2チーム |
| | ⑥ 目的 | 関西サッカーのレベルアップを図る |
| | ⑦ 方式 | リーグ戦及びトーナメント戦 |
| | ⑧ 参加数 | U-13年代の選手 12チームx20名 約240名 |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:179,500円 実支出:141,540円 |
| | ⑩ 結果(成果) | レベルの高いゲームを経験することで、互いのレベルアップにむけた取り組みができた。 |

| | | |
|-------|---------------|---|
| 事業コード | 012012 | |
| 事業名 | 関西トレセンリーグU-16 | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (一社)関西サッカー協会/(一社)大阪府サッカー協会 |
| | ② 担当 | 技術委員会 |
| | ③ 日程 | 平成30年4月～12月 |
| | ④ 場所 | J-GREEN堺 他 |
| | ⑤ 対象 | U-16セントラルトレセン選手 |
| | ⑥ 目的 | 関西のサッカーのレベルアップを図るとともに国民体育大会近畿ブロック予選のシード権を争う |
| | ⑦ 方式 | 1回戦総当たりのリーグ戦(結果が国体近畿ブロック予選に反映) |
| | ⑧ 参加数 | 関西6府県のU-16セントラルトレセン選手 |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:761,800円 実支出:631,826円 |
| | ⑩ 結果(成果) | 関西6府県のトレセンチームと対戦することでお互いに良い刺激を得て、さらなる技術向上を図る。 |

| | | |
|-------|---------------|---|
| 事業コード | 012013 | |
| 事業名 | 関西トレセンリーグU-14 | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (一社)関西サッカー協会/(一社)大阪府サッカー協会 |
| | ② 担当 | 技術委員会 |
| | ③ 日程 | 平成30年5月～平成31年1月 |
| | ④ 場所 | J-GREEN堺 他 |
| | ⑤ 対象 | U-14セントラルトレセン選手 |
| | ⑥ 目的 | 関西のサッカーのレベルアップを図る |
| | ⑦ 方式 | 1回戦総当たりのリーグ戦(Jクラブ同士の対戦はなし) |
| | ⑧ 参加数 | Jクラブ4チームと関西6府県のU-14セントラルトレセン選手 |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:271,700円 実支出:220,405円 |
| | ⑩ 結果(成果) | 関西6府県のトレセンチームと対戦することでお互いに良い刺激を得て、さらなる技術向上を図る。 |

| | | |
|-------|---------------|--|
| 事業コード | 012014 | |
| 事業名 | 関西トレセンリーグU-12 | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (一社)関西サッカー協会/(一社)大阪府サッカー協会 |
| | ② 担当 | 技術委員会 |
| | ③ 日程 | 平成30年5月～平成31年2月 |
| | ④ 場所 | J-GREEN堺 他 |
| | ⑤ 対象 | 関西6府県のセントラルトレセンU-12選手 |
| | ⑥ 目的 | サッカー競技を通して、体力の向上、技術のレベルアップを図る |
| | ⑦ 方式 | 2回戦総当たりリーグ戦 |
| | ⑧ 参加数 | 関西6府県のセントラルトレセンU-12 各2チームの12チーム |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:675,100円 実支出:505,333円 |
| | ⑩ 結果(成果) | 関西6府県のトレセンチームと対戦することで、お互いに良い刺激を得て、さらなる技術向上を図る。 |

| | | |
|-------|------------------------------|---|
| 事業コード | 012016 | |
| 事業名 | シャイニングユースサッカー大会(U-12女子)指導者派遣 | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (一社)大阪府サッカー協会/技術委員会 |
| | ② 担当 | 技術委員会 |
| | ③ 日程 | 平成31年1月19日・20日 |
| | ④ 場所 | J-GREEN堺 |
| | ⑤ 対象 | 女子U-12トレセン選手 |
| | ⑥ 目的 | 女子U-12/11年代の選手強化 |
| | ⑦ 方式 | リーグ戦及び順位決定戦 |
| | ⑧ 参加数 | 関西5府県(和歌山以外)、静岡、三重、神奈川県で大阪のみU-12とU-11の2チーム参加で9チーム |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:65,000円 実支出:57,860円 |
| | ⑩ 結果(成果) | トレセン活動の中間時期の成果を確認でき、後期のトレーニングに活かされた。 |

| | | |
|-------|---------------------|--|
| 事業コード | 012017 | |
| 事業名 | 滋賀招待女子U-18・15サッカー大会 | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (公社)滋賀県サッカー協会/女子委員会 |
| | ② 担当 | 技術委員会 |
| | ③ 日程 | 平成30年12月8日・9日 |
| | ④ 場所 | 滋賀県 ビッグレイク |
| | ⑤ 対象 | 関西6府県を含む全国からの女子U-18・U-15・U-12選手対象 |
| | ⑥ 目的 | サッカーを通して、体力向上、技術のレベルアップを図る |
| | ⑦ 方式 | リーグ戦、順位決定トーナメント戦 |
| | ⑧ 参加数 | 3カテゴリーx20名x8チーム 約480名 |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:231,500円 実支出:136,996円 |
| | ⑩ 結果(成果) | 女子2カテゴリーが集う大会であり、育成の問題点や成果を一度に感じることができた。 |

| | | |
|-------|-----------------|--------------------------|
| 事業コード | 012019 | |
| 事業名 | U-11京都府招待サッカー大会 | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (一社)京都府サッカー協会 |
| | ② 担当 | 技術委員会 |
| | ③ 日程 | 平成30年7月21日・22日 |
| | ④ 場所 | 京都市宝が池球技場 |
| | ⑤ 対象 | U11府県トレセン |
| | ⑥ 目的 | サッカーを通して体力の向上、技術の向上を図る |
| | ⑦ 方式 | 12チームで予選リーグ⇒決勝ラウンド |
| | ⑧ 参加数 | 選手16名 スタッフ3名 |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:90,000円 実支出:42,370円 |
| | ⑩ 結果(成果) | 準優勝。トレセン活動の成果の確認を行った。 |

| | | |
|-------|-------------------------------------|--|
| 事業コード | 012432 | |
| 事業名 | JFATレセン大阪U-12 ジュニアサッカーワールドチャレンジ2018 | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | U-12ジュニアサッカーワールドチャレンジ2018実行委員会・(一社)大阪府サッカー協会 |
| | ② 担当 | 技術委員会 |
| | ③ 日程 | 平成30年8月23日～8月26日 |
| | ④ 場所 | OFA万博フットボールセンター・万博記念競技場 |
| | ⑤ 対象 | JFATレセン大阪U-12選手・スタッフ |
| | ⑥ 目的 | 選手の強化・育成と友好親善 |
| | ⑦ 方式 | 11人制。全24チーム。4チーム予選リーグ⇒決勝トーナメント |
| | ⑧ 参加数 | 選手20名、団長1名、指導者5、トレーナー1名 |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:257,006円 実支出:257,006円 |
| | ⑩ 結果(成果) | 4位。トレセン活動の成果の確認を行った。 |

(4)国際交流事業

小学生から高校年代までの選抜選手を海外に派遣、並びに海外チームの受け入れをすることにより、サッカー技術の向上と友好親善に寄与することを目的に実施。

| | | |
|-------|---------------------------|--|
| 事業コード | 030009 | |
| 事業名 | 第32回大阪国際招待ユース(U-16)サッカー大会 | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (一社)大阪府サッカー協会/事業本部 |
| | ② 担当 | 事業本部 |
| | ③ 日程 | 平成30年8月10日～8月12日 |
| | ④ 場所 | 大阪府堺市/J-GREEN堺 S1ピッチ |
| | ⑤ 対象 | U-16で編成された中国上海・韓国・国内1チーム・大阪U-16チームの合計4チーム |
| | ⑥ 目的 | U16年代の国体へ向けた強化の一環、海外チームとの対戦を通じて、国際経験を積む |
| | ⑦ 方式 | リーグ戦方式 |
| | ⑧ 参加数 | 4チーム(大阪、福井、蔚山、上海)/計117名(大阪6・20名、福井6・17名、蔚山15・19名、上海11・23名) |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:8,277,000円 実支出:7,476,870円 |
| | ⑩ 結果(成果) | 1位:大阪、2位:上海、3位:福井、4位:蔚山 ※大阪は3勝 |

| | | |
|-------|---------------------------------|--|
| 事業コード | 030010 | |
| 事業名 | 第14回日中韓国際女子(U-18)サッカー大会2018(上海) | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | 上海サッカー協会/上海サッカー協会 |
| | ② 担当 | (一社)大阪府サッカー協会 事業本部 |
| | ③ 日程 | 平成30年7月9日～7月14日 |
| | ④ 場所 | 中国上海 |
| | ⑤ 対象 | U-18で編成された大阪U-18女子選抜の海外遠征 |
| | ⑥ 目的 | U18年代の女子トレセン活動の集大成、海外チームとの対戦を通じて、国際経験を積む |
| | ⑦ 方式 | リーグ戦方式 |
| | ⑧ 参加数 | 大阪U-18女子選抜、中国上海×2チーム、韓国 計4チーム(計100名) |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:2,660,000円 実支出:2,671,914円 |
| | ⑩ 結果(成果) | 1位:韓国、2位:大阪、3位:上海、4位:中国杭州 |

| | | |
|-------|------------------------------|---|
| 事業コード | 030029 | |
| 事業名 | 第18回日中韓国際ユース(U-16)サッカー大会2018 | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | ※第31回大阪招待ユース(U-16)サッカー大会(上記記載)と合わせた形で開催 |
| | ② 担当 | |
| | ③ 日程 | |
| | ④ 場所 | |
| | ⑤ 対象 | |
| | ⑥ 目的 | |
| | ⑦ 方式 | |
| | ⑧ 参加数 | |
| | ⑨ 規模 | |
| | ⑩ 結果(成果) | |

(5)選手選考事業

生涯スポーツが盛んとなり、シニアサッカー大会が多くなってきた。取り分け全国健康福祉祭(通称:ねんりんピック)が1988年から開催されている。大阪府下の60歳以上のサッカー愛好者に対して選考会、及び大会参加までの遠征・強化練習を実施。

| | | |
|-------|------------------------|---|
| 事業コード | 009003 | |
| 事業名 | ねんりんピック大阪府・大阪市代表選手団選考会 | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (一社)大阪府サッカー協会/シニア委員会 |
| | ② 担当 | シニア委員会 |
| | ③ 日程 | 平成30年6月3日 |
| | ④ 場所 | ①大阪府堺市 ②J-GREEN堺 |
| | ⑤ 対象 | 1959年(昭和34年)4月1日以前に生まれた選手 |
| | ⑥ 目的 | ねんりんピックに出場する大阪府及び大阪市選手団の選考会を開催し、代表選手を決定し、練習会を通じて活性化を図る大阪府及び大阪市からの委託事業。※本年度はユニフォーム更新費用も計上。 |
| | ⑦ 方式 | 候補選手による紅白戦形式の選考会、代表選手決定後は、強化試合の開催 |
| | ⑧ 参加数 | 大阪府、大阪市合計57名 |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:423,500円 実収支:351,216円 |
| | ⑩ 結果(成果) | 大阪府、大阪市の選抜メンバーを選考の上、大会へ派遣 |

2) 技術指導事業

府内の各チームの指導者の指導技術を向上させることにより、優秀な選手を育てるとともに、指導方法の確立を目的とする。又優秀な指導者を発掘することにより、高度な指導力を有する指導者の強化育成につなげる事業。大阪府下の各チームが、ライセンスを持った指導者で指導できる環境の整備に努める。

(1) 指導者講習会の開催

| | | |
|-------|----------------|---|
| 事業コード | 004007 | |
| 事業名 | M4中学生年代の環境充実事業 | |
| 事業内容 | ① 主催 | (一社)大阪府サッカー協会 / 第3種委員会 |
| | ② 担当 | 第3種委員会 |
| | ③ 日程 | 平成30年5月～平成31年3月 |
| | ④ 場所 | 大阪府下8地区 |
| | ⑤ 対象 | 選手(中学生)と指導者を対象。未登録チームも参加可能。講習会を開催(実技・講座) |
| | ⑥ 目的 | 実技と講座により個人戦術・技術の理解を深め、中学生及び指導者のレベルアップを図る。また、未登録のチーム指導者にサッカー協会の活動を認知してもらう。 |
| | ⑦ 方式 | 大阪府下8地区のトレセンスタッフを中心に、各地区独自の講習会を開催 |
| | ⑧ 参加数 | 各地区40名 総数320名 |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:451,000円 実支出:324,140円 |
| | ⑩ 結果 | 8地区のトレセンスタッフを中心に、指導者講習会を企画・開催。各地区での開催となるが、参加指導者は地区に関係なく参加可能で、昨年よりも多くの指導者の参加があった。また、中央開催として3種委員会が企画・開催も行き、多くの指導者の参加があった。 |

| | | |
|-------|----------|--|
| 事業コード | 008004 | |
| 事業名 | リーダー養成 | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (一社)大阪府サッカー協会 |
| | ② 担当 | キッズ委員会 |
| | ③ 日程 | キッズリーダー養成講習会 U-6/U-8/U-10/All、C級タイアップ養成講習会 開催各コース J-GREEN堺/摂津/高槻/大阪南/万博平日※講習会開催日は調整中、C級リフレッシュ養成講習会 2回開催予定※日程は調整中、出張型養成講習会年20回ほど予定※日程は未定 |
| | ④ 場所 | キッズリーダー養成講習会 J-GREEN堺、C級タイアップ養成講習会 C級開催各コース会場、C級リフレッシュ養成講習会 会場は調整中 出張型養成講習会 依頼元会場にて実施 |
| | ⑤ 対象 | 大阪府内、または近隣の小学4年生以下の子どもたちの指導者、学校園の先生、保育士、学生、保護者等 |
| | ⑥ 目的 | 子どもたち(キッズU-6/U-8/U-10)を対象に、サッカーを含む身体を動かすことの楽しさや、面白さを体験させ、より健やかな成長を促すことを理解し、子どもたちと一緒に活動できる大人、日本のサッカーに関わる人を増やす |
| | ⑦ 方式 | 受講者は事前申込制、受講料は1名3,080円、講習会は講義1.5時間 実技1.5時間 ALLコースのみ講義3時間、実技3時間、受講料8,240円 |
| | ⑧ 参加数 | キッズリーダー養成講習会U-6/U-8/U-10/Allは各20名予定、C級タイアップ養成講習会開催各コースJ-GREEN堺/高槻/万博平日各コース希望者のみ※講習会開催日は調整中。C級リフレッシュ養成講習会2回開催予定※日程は調整中 各20名予定 出張型養成講習会、年20回ほど予定※日程は未定 各15名予定。 |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:1,690,000円 実支出:1,541,374円 |
| | ⑩ 結果(成果) | 実開催数:31回 受講者数:578名 |

| | | |
|-------|-----------|--|
| 事業コード | 012029 | |
| 事業名 | 指導者養成関連事業 | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (一社)大阪府サッカー協会 / 技術委員会 |
| | ② 担当 | 技術委員会 |
| | ③ 日程 | 平成30年4月～平成31年3月C/D級養成講習(C5コース・D4コース)、リフレッシュ研修11コース、D-up研修、学校体育サポート、A/B級トライアル、フットボールカンファレンス |
| | ④ 場所 | 万博大阪サッカーグラウンド、J-GREEN堺、グランキューブ 他 |
| | ⑤ 対象 | 公認指導者並びに公認指導資格取得希望者(コースによって条件が異なる) |
| | ⑥ 目的 | 新たな指導者の排出と、指導者のレベルアップと方向性の確認 |
| | ⑦ 方式 | 講義のみ、講義と実技、指導実践と講義のコース |
| | ⑧ 参加数 | 延べ1600名 |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:20,871,135円 実支出:10,412,712円 |
| | ⑩ 結果(成果) | 多くの新たな指導者の排出と、講習会開催による指導者のレベルアップ |

| | | |
|-------|-------------|---|
| 事業コード | 016001 | |
| 事業名 | ユースプロジェクト事業 | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (一社)大阪府サッカー協会/技術委員会 |
| | ② 担当 | ユースダイレクター |
| | ③ 日程 | 平成30年4月～平成31年3月 |
| | ④ 場所 | 大阪府下全域 |
| | ⑤ 対象 | 2/3/4/女子/キッズ/審判 各委員会並びに登録各チーム |
| | ⑥ 目的 | 種別を超えて、大阪のサッカー発展を目的に各種別のサッカー環境の整備、充実を図る |
| | ⑦ 方式 | ミーティング開催・各事業の視察・種別委員会・総会への出席 |
| | ⑧ 参加数 | 15名/2回 |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:804,000円 実支出:440,662円 |
| | ⑩ 結果(成果) | 各総会・キッズ委員会・2種・3種・4種・女子委員会への積極的な参加をし、JFAからの情報の共有やリーグ戦規定の順守などアナウンスを行った。女子U15リーグ戦の創設にもアドバイスを行い、レギュレーションを作成。また、実際のリーグ戦の現場にも足を運び、現場スタッフ(チーム指導者・種別役員と情報交換や意見交流を行った。 |

| | | |
|-------|------------|---|
| 事業コード | 030018 | |
| 事業名 | SMCサテライト講座 | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (公財)日本サッカー協会/(一社)大阪府サッカー協会 |
| | ② 担当 | 事業本部 |
| | ③ 日程 | 平成31年2月23日・24日・3月2日 |
| | ④ 場所 | J-GREEN堺 |
| | ⑤ 対象 | スポーツ組織の運営に携わる方、その他スポーツ選手や指導者など |
| | ⑥ 目的 | 自立した魅力溢れるスポーツ組織づくりを推進し、スポーツ文化の創造、人々の心身の健全な発達と社会の発展に貢献できる優秀なスポーツマネジャーを養成することを目的とした人材育成事業 |
| | ⑦ 方式 | 6セッションの座学 |
| | ⑧ 参加数 | 16名 |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:1,000,000円 実支出:496,563円 |
| | ⑩ 結果(成果) | 様々な角度からクラブの在り方を考え、参加者は新たな気づきと学びに手応えを感じていた。 |

3) スポーツ医学研究事業

サッカーに関する外傷、応急処置、アンチドーピング等の研修、講習会の開催、並びにスポーツ医学に関する学会、講習会への参加により研鑽事業を実施する。又本協会が主催・主管する大会等への医療従事者の派遣により、スポーツ現場における外傷・疾病予防・初期診療等の活動を行う。

| | | |
|-------|----------|---|
| 事業コード | 014001 | |
| 事業名 | 医科学講演会 | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (一社)大阪府サッカー協会/スポーツ医学委員会 |
| | ② 担当 | スポーツ医学委員会 |
| | ③ 日程 | 第1回:平成30年4月、第2回:平成30年6月、第3回:平成31年1月、第4回:平成31年2月 |
| | ④ 場所 | 大阪リゾート&スポーツ専門学校等 |
| | ⑤ 対象 | スポーツ医学委員、サッカー協会関係者 |
| | ⑥ 目的 | スポーツ医学委員および関係者を対象としたスポーツ医学に関する知識向上 |
| | ⑦ 方式 | 医学講演 |
| | ⑧ 参加数 | 各回20～30名程度 |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:1,115,000円 実支出:725,715円 |
| | ⑩ 結果(成果) | 医学委員のスポーツ医学に関する知識向上に寄与した。また、情報共有の場としても機能した。 |

| | | |
|-------|----------|--|
| 事業コード | 014001 | |
| 事業名 | チーム帯同、派遣 | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (一社)大阪府サッカー協会 |
| | ② 担当 | スポーツ医学委員会 |
| | ③ 日程 | 平成30年4月～平成31年3月(ただし、特定大会に対して編成されるチームにおいてはその大会期間) |
| | ④ 場所 | 大会開催地、練習施行地 |
| | ⑤ 対象 | 大阪府セントラルトレセン、JFA女子ユース代表チーム、大阪府国体代表チーム、フットサル大阪選抜チームなど |
| | ⑥ 目的 | 医学的支援、障害予防、外傷対応 |
| | ⑦ 方式 | 練習、練習試合、大会に帯同し、医学的支援を行う |
| | ⑧ 参加数 | — |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:1,115,000円 実支出:725,715円 |
| | ⑩ 結果(成果) | 医学委員が帯同することで、練習会や試合での負傷者に対し、適切かつ迅速な対応をすることができた。 |

| | | |
|-------|----------|--|
| 事業コード | 014001 | |
| 事業名 | 会場救護 | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (一社)大阪府サッカー協会 |
| | ② 担当 | スポーツ医学委員会 |
| | ③ 日程 | 平成30年4月～平成31年3月 |
| | ④ 場所 | 大会等開催地 |
| | ⑤ 対象 | 国際親善試合、JFA管轄各カテゴリー大会、JFA主催イベント、全国高校サッカー選手権大阪 |
| | ⑥ 目的 | 大会参加チーム、選手、大会関係者、観客などに対する救護活動 |
| | ⑦ 方式 | 試合開催会場での救護活動 |
| | ⑧ 参加数 | － |
| | ⑨ 規模 | 支出予算は事業[チーム帯同、派遣]内に含まれる |
| | ⑩ 結果(成果) | 大会帯同し、医科学的支援を実施した。 |

| | | |
|-------|-------------|--|
| 事業コード | 014001 | |
| 事業名 | 各種講習会への講師派遣 | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (一社)大阪府サッカー協会 |
| | ② 担当 | スポーツ医学委員会 |
| | ③ 日程 | 平成30年4月～平成31年3月 |
| | ④ 場所 | 講習会開催地 |
| | ⑤ 対象 | 日本体育協会公認コーチ養成講習会、JFA公認C級コーチ養成講習会、JFA公認D級コーチ養成講習会 |
| | ⑥ 目的 | 医学的知識の啓発、向上 |
| | ⑦ 方式 | 講習会場での講義方式 |
| | ⑧ 参加数 | － |
| | ⑨ 規模 | 年間5～6回程度、各種講習会規定のとおり |
| | ⑩ 結果(成果) | 各講習会に医学委員を派遣した。 |

| | | |
|-------|-------------------|---|
| 事業コード | 014001 | |
| 事業名 | ドーピングコントロールへの協力活動 | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (公財)日本サッカー協会/(一社)大阪府サッカー協会 |
| | ② 担当 | スポーツ医学委員会 |
| | ③ 日程 | 平成30年4月～平成31年3月で、JADAにより指定されたJリーグ、Fリーグ開催日及びその他の指定日 |
| | ④ 場所 | JADAにより指定されたJリーグ、Fリーグ開催競技場、及びJADA指定の検査場所等 |
| | ⑤ 対象 | 所定の手続きによりドーピングコントロールの対象となった出場選手 |
| | ⑥ 目的 | ドーピング防止 |
| | ⑦ 方式 | JFAアンチドーピング委員会からNF repとして委託された委員が、JADAの指示により所定の手続きに従ったアンチドーピング検査の立会いを行う |
| | ⑧ 参加数 | － |
| | ⑨ 規模 | 費用はJFAから支給 |
| | ⑩ 結果(成果) | ドーピングコントロール活動に寄与した。 |

| | | |
|-------|--------------|--|
| 事業コード | 014002 | |
| 事業名 | メディカルカンファレンス | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (一社)大阪府サッカー協会/スポーツ医学委員会 |
| | ② 担当 | スポーツ医学委員会 |
| | ③ 日程 | 平成31年2月3日 |
| | ④ 場所 | 大阪医専マルチホール |
| | ⑤ 対象 | 医学委員、技術委員、医療従事者、スポーツ関係を目指す学生、チーム関係者など |
| | ⑥ 目的 | 医学的知識の啓発、障害予防に寄与 |
| | ⑦ 方式 | セミナー方式(講演、パネルディスカッション) |
| | ⑧ 参加数 | 267名 |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:325,000円 実支出:764,969円(プログラム、広告、会場費、講師料等) |
| | ⑩ 結果(成果) | 多数の参加者に来場していただくことができた。次回以降開催にあたっての課題を集積することができた。 |

| | | |
|-------|----------|--|
| 事業コード | 014003 | |
| 事業名 | リサーチ事業 | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (一社)大阪府サッカー協会/スポーツ医学委員会 |
| | ② 担当 | スポーツ医学委員会 |
| | ③ 日程 | 平成30年4月～平成31年3月 |
| | ④ 場所 | 対象となるチームの練習場や試合会場 |
| | ⑤ 対象 | 賢明学院高校 |
| | ⑥ 目的 | 傷害調査やアスレチックトレーナーの介入による傷害予防 |
| | ⑦ 方式 | アスレチックトレーナーによるチームの帯同 |
| | ⑧ 参加数 | 1校 |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:102,000円 実支出:333,180円 |
| | ⑩ 結果(成果) | メディカルチェックの実施、アスレチックリハビリテーションの指導介入、医療機関受診の判断を行った。 |

| | | |
|-------|-----------|--|
| 事業コード | 014004 | |
| 事業名 | スポーツ救命講習会 | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (一社)大阪府サッカー協会 |
| | ② 担当 | スポーツ医学委員会 |
| | ③ 日程 | 平成31年2月24日 |
| | ④ 場所 | 大阪市立総合医療センター |
| | ⑤ 対象 | スポーツ現場に関わる職種、指導者、チーム関係者など |
| | ⑥ 目的 | スポーツ現場での突然死を防ぐため。また、現場で起こりうる事象を把握し、適切な対処ができるようにする。 |
| | ⑦ 方式 | 講義、実技 |
| | ⑧ 参加数 | 30名 |
| | ⑨ 規模 | 実支出:142,636円(テキスト代、JFA納付金、講師料) |
| | ⑩ 結果(成果) | 現場での救急対応可能なスタッフの育成ができた。 |

II、普及・広報事業

(1) 事業開催の趣旨

体験事業は、各カテゴリーのフェスティバルを通じて広くサッカーの面白さを知ってもらい普及活動を行う。巡回指導・エリートスクール事業は、キッズ年代のサッカーの普及のため、各地域の幼稚園・保育所を巡回指導するとともに、優秀なキッズを中央に集めて指導する。広報事業は、年4回の広報誌(大阪サッカー通信 ACTION)の発行とホームページにおけるリアルタイムな行事や試合結果等の掲載を行う。

1) グラスルーツ事業

幼年からシニア、女子に至るまで各カテゴリーがサッカー・フットサルを通じてのイベントを開催することにより、サッカー・フットサルの面白さを知ってもらいとともに、各カテゴリーの垣根を越えたフェスティバル開催により世代間交流が行われる。ひいては、サッカー・フットサルの愛好家を増やすことにつながる。

| | | |
|-------|---------------|---|
| 事業コード | 007009 | |
| 事業名 | 大阪女子サッカークリニック | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (一社)大阪府サッカー協会/女子委員会 |
| | ② 担当 | 女子委員会 |
| | ③ 日程 | 平成30年5月・9月(2日)・10月・12月、平成31年2月・3月(7日間) |
| | ④ 場所 | J-GREEN堺他 |
| | ⑤ 対象 | 女子選手(年齢不問) |
| | ⑥ 目的 | 女子サッカーに親しむと共に技術の向上の機会を提供することによって、競技の普及を図ると共に、スポーツ等の振興を通じて青少年の健全育成に資する |
| | ⑦ 方式 | 年齢別グループ等でのスクール形式 |
| | ⑧ 参加数 | 7回/延べ300名 |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:409,500円 実支出:278,307円 |
| | ⑩ 結果(成果) | 年間7回を実施したことで年代別の幅広い普及活動ができ初心者にも広がりが見られた。 |

| | | |
|-------|------------------------------------|--|
| 事業コード | 008005 | |
| 事業名 | OFAキッズサッカーフェスティバル(U-6・U-8・U-10)の開催 | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (一社)大阪府サッカー協会/キッズ委員会 |
| | ② 担当 | キッズ委員会 |
| | ③ 日程 | 年間5回～8回開催 |
| | ④ 場所 | OFA万博フットボールセンター、J-GREEN堺他 |
| | ⑤ 対象 | U-6・U-8・U-10の3カテゴリーでキッズフェスティバルを行う |
| | ⑥ 目的 | 10歳以下の年代層にサッカーの普及を図る。これまでサッカーに親しんだことのない子どもたちも含めて、より多くの子どもたちがボールを蹴ることの楽しみを味わえるチャンスを与え、キッズサッカーの浸透に努める。 |
| | ⑦ 方式 | キッズダンスやふれあい遊びでアイスブレイクを図り、コーナー遊びやサーキットなどで様々なサッカー遊びを経験してもらい、最後はランダムにチーム分けしたミニゲームを楽しんでもらう |
| | ⑧ 参加数 | 目標参加人数 1,500名 |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:1,953,100円 実支出:1,657,649円 |
| | ⑩ 結果(成果) | 4回中3回開催 約300名 出張型2回開催 約250名 計約550名の参加 |

| | | |
|-------|------------------------------------|--|
| 事業コード | 008007 | |
| 事業名 | JFAキッズサッカーフェスティバル(U-6・U-8・U-10)の開催 | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (一社)大阪府サッカー協会 |
| | ② 担当 | キッズ委員会 |
| | ③ 日程 | 年4回開催 |
| | ④ 場所 | J-GREEN堺(屋根付きフットサルコートF1～F3) |
| | ⑤ 対象 | U-6・U-8・U-10の3カテゴリー |
| | ⑥ 目的 | 10歳以下の年代層にサッカーの普及を図る。これまでサッカーに親しんだことのない子どもたちも含めて、より多くの子どもたちがボールを蹴ることの楽しみを味わえるチャンスを与え、キッズサッカーの浸透に努める。 |
| | ⑦ 方式 | キッズダンスやふれあい遊びでアイスブレイクを図り、コーナー遊びやサーキットなどで様々なサッカー遊びを経験してもらい、最後はランダムにチーム分けしたミニゲームを楽しんでもらう |
| | ⑧ 参加数 | 開催4回合計 433名 |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:1,447,700円 実支出:1,117,800円 |
| | ⑩ 結果(成果) | 予定4回の開催を無事終了。昨年度に比べ初心者(未経験者)の参加数が約7～8%増。 |

| | | |
|-------|--------------------|---|
| 事業コード | 010013 | |
| 事業名 | オータムチャレンジ フットサル交換会 | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (一社)大阪府サッカー協会/フットサル委員会 |
| | ② 担当 | フットサル連盟(フットサル委員会) |
| | ③ 日程 | 平成30年10月8日 |
| | ④ 場所 | ①大阪府大阪市 ②府民共済SUPERアリーナ |
| | ⑤ 対象 | 一般申込参加 |
| | ⑥ 目的 | フットサルの普及 |
| | ⑦ 方式 | フットサル大会及びクリニック |
| | ⑧ 参加数 | 40歳以上 |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:137,860円 実支出:66,778円 |
| | ⑩ 結果(成果) | 一定数の小学生の参加があり、フットサルの普及という目的を達成することができた。 |

| | | |
|-------|----------------------|--|
| 事業コード | 030015 | |
| 事業名 | JFAファミリーフットサルフェスティバル | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (一社)大阪府サッカー協会/事業本部 |
| | ② 担当 | 事業本部/フットサル委員会 |
| | ③ 日程 | 1stステージ:平成30年6月10日、2ndステージ:平成30年12月1日 |
| | ④ 場所 | J-GREEN堺F1～F3ピッチ |
| | ⑤ 対象 | 小学生～成人男女 |
| | ⑥ 目的 | フットサルの普及 |
| | ⑦ 方式 | カテゴリー別によるリーグ戦およびクリニックの開催 |
| | ⑧ 参加数 | 24チーム×2回 |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:948,000円 実支出:795,804円 |
| | ⑩ 結果(成果) | 普及目的のため、特に順位決定はしていないが、参加者にフットサルを楽しむ機会を提供できた。 |

| | | |
|-------|-------------|--|
| 事業コード | 030016 | |
| 事業名 | JFAフットボールデー | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (一社)大阪府サッカー協会/事業本部 |
| | ② 担当 | 事業本部 |
| | ③ 日程 | 平成30年9月29日 |
| | ④ 場所 | 大阪府堺市/J-GREEN堺 |
| | ⑤ 対象 | 一般募集によるキッズ・女子・シニア年代 |
| | ⑥ 目的 | 大阪サッカーフェスティバルとして、キッズ・女子・シニアの交流を行う |
| | ⑦ 方式 | キッズ:フェスティバル、女子:クリニック、シニア:ハーフピッチおよびフルピッチゲーム |
| | ⑧ 参加数 | 約200名(参加予定者) |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:300,000円 実支出:205,278円 |
| | ⑩ 結果(成果) | 雨天のため中止 |

| | | |
|-------|----------------|--|
| 事業コード | 030035 | |
| 事業名 | 夢をかに2018プロジェクト | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (一社)大阪府サッカー協会 |
| | ② 担当 | 事業本部 |
| | ③ 日程 | 平成30年5月27日・30日 |
| | ④ 場所 | 大阪府吹田市/バナソニックスタジアム吹田 |
| | ⑤ 対象 | サッカーファミリー・一般の愛好家 |
| | ⑥ 目的 | JFAより、日本最大級の応援企画として、5/30の日本代表戦のパブリックビューイング実施の要請を元に、5/27にバナスタで開催するキッズ・女子・4種・シニアのフェスティバルと共に日本代表を応援することを通じて、WC効果を最大限に活かすべくイベントを開催する |
| | ⑦ 方式 | 27日は参加者募集形式、30日はチケット販売 |
| | ⑧ 参加数 | 27日:約100名、30日:867名 |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:8,193,000円 実支出:8,049,610円 |
| | ⑩ 結果(成果) | W杯前の盛り上げ企画として行った本イベントではあるが、バナスタを使用した新たな展開として有意義だった。 |

| | | |
|-------|--------------|---------------------------------------|
| 事業コード | 036001 | |
| 事業名 | 障がい者サッカー関連事業 | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (一社)大阪府サッカー協会 |
| | ② 担当 | 事業本部 |
| | ③ 日程 | 平成30年4月1日～平成31年3月31日 |
| | ④ 場所 | J-GREEN堺他 |
| | ⑤ 対象 | 日本障がい者サッカー連盟加盟団体等 |
| | ⑥ 目的 | 障がい者サッカーの支援を通じ、大阪府下の障がい者サッカーの認知度を高める等 |
| | ⑦ 方式 | 交流会の開催、後援、審判派遣、運営協力等 |
| | ⑧ 参加数 | 大阪府下の障がい者サッカー団体 |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:100,000円 実支出:501,761円 |
| | ⑩ 結果(成果) | OFA主催イベントを12月に開催。各団体との連携を深めることができた。 |

2) キッズ巡回指導・エリート事業

巡回指導事業は、希望する保育所・幼稚園を巡回し、サッカー・フットサルの面白さを幼児に教えて、サッカー・フットサルを永く続けることができる子どもたちの育成を目的とする。エリート事業は、各地域の優秀なサッカー技術を有する児童を推薦してもらい、キッズ年代の育成を目的とする。

| | | |
|-------|----------|---|
| 事業コード | 008002 | |
| 事業名 | キッズ巡回指導 | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (一社)大阪府サッカー協会 |
| | ② 担当 | キッズ委員会 |
| | ③ 日程 | 通年 |
| | ④ 場所 | こどもの園敬愛保育園、住吉幼稚園、粉浜幼稚園、生魂幼稚園、鞆幼稚園、古市南幼稚園、吹田第一幼稚園、東佐井寺幼稚園、山田第三幼稚園、岸部第一幼稚園、東山田幼稚園、南山田幼稚園、安立小学校、小阪こども園 |
| | ⑤ 対象 | 幼稚園年少・年中・年長・小学生 |
| | ⑥ 目的 | キッズ年代へのサッカーの普及が主な目的 |
| | ⑦ 方式 | 対象年齢(巡回先によって違う)の園児、小学生にサッカー指導を提供 |
| | ⑧ 参加数 | 年間述べ人数6,000人 |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:1,479,914円 実支出:1,171,429円 |
| | ⑩ 結果(成果) | サッカーに関わっていない子供たち(男女問わず)へ、身体を動かす事とサッカーの楽しさを伝える事ができ、先生方にもその方向性に共感していただき、有料継続園も増加した。次年度も継続見込み。次年度新規3園決定。 |

| | | |
|-------|--------------------|--|
| 事業コード | 008003 | |
| 事業名 | ゲームフェスティバル(キッズリーグ) | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (一社)大阪府サッカー協会 |
| | ② 担当 | キッズ委員会 |
| | ③ 日程 | 平成30年4月～平成31年3月 |
| | ④ 場所 | J-GREEN堺、OFA万博フットボールセンター、いずみスポーツヴィレッジ |
| | ⑤ 対象 | U-7、U-8、U-9を『キッズリーグ』として実施 |
| | ⑥ 目的 | 『JFAキッズプログラム』の理念を元に『より深い・広い普及』、『日常化』をキーワードに継続的なリーグ戦をキッズ年代で開催する事で身体を動かす事の楽しさや面白さを体験させ、より健全な成長を促し、ひいては日本のサッカーに関わる人を増やす |
| | ⑦ 方式 | リーグ戦形式(1日完結型) |
| | ⑧ 参加数 | J-GREEN堺・万博・大阪府サッカー協会人工芝、いずみスポーツヴィレッジにおいて、1日完結型は1日を午前、午後に分けて各10チームずつの参加。(1日で約20チーム) 1チームが約12名程度。総合計 約2,640名。 |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:1,090,000円 実支出:798,703円 |
| | ⑩ 結果(成果) | 4会場、12回開催、参加チーム数83チーム、参加数(女子含む)約1000人 |

| | | |
|-------|----------|---|
| 事業コード | 008006 | |
| 事業名 | キッズエリート | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (一社)大阪府サッカー協会 |
| | ② 担当 | キッズ委員会 |
| | ③ 日程 | 平成30年4月～平成31年3月 |
| | ④ 場所 | OFA万博フットボールセンター、J-GREEN堺 他 |
| | ⑤ 対象 | U7(小学校1年生)～U10(小学校4年生)の男女 |
| | ⑥ 目的 | キッズ年代へのサッカーの普及。既にサッカーに出会い、「もっとやりたい！」子ども達に、より多くの刺激を与えることができる環境作りを目的とする。 |
| | ⑦ 方式 | キッズエリートはU7～U10の4カテゴリーを北・南の2コース、全8クラスを開催。ガールズエリートはU8・U10の全2クラスを開催。各クラス年間7～8回程度実施。通常活動以外にもキャンプや遠征などを実施。 |
| | ⑧ 参加数 | 約300人 【キッズエリート】8クラス×30人 【ガールズエリート】2クラス×30人 |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:4,465,000円 実支出:4,098,789円 |
| | ⑩ 結果(成果) | 全10クラスを年間7～8回実施。通常活動以外にも保護者講習会、U-9キャンプ、U-10遠征を実施。 |

3) 広報事業

大阪サッカー通信 ACTIONの発行(詳細は別記)、協会ホームページの更新、及びリアルタイムなホームページへの行事・記録の掲載事業。

III、審判員養成・審判技術研究事業

(1) 事業開催の趣旨

審判員養成事業は、サッカー・フットサル競技を開催、運営する上において審判員の確保は重要であり、審判員を養成・育成するため認定講習会・更新講習会・昇級試験を行うとともに、高度なサッカー・フットサルの審判技術を取得させるための強化育成事業を行う。

又協会の主催・主管・後援する大会・事業に審判員を派遣する。審判技術研究事業は、各試合に審判指導員・審判インストラクターを派遣し、試合を通じて審判員の技術の向上と判定技術の研究を図る事業。

1) 審判員養成事業

大阪府下の審判員を目指す希望者に対して審判講習会を開催し、審査の上、審判の資格を与えて多くの審判員を育成する。又、審判資格の保有者に更新講習会を開催し、審判資格の継続に務める。4級審判資格者で審判能力・上級資格希望者に昇格試験並びに更新講習会を行う。

| | | |
|-------|----------|--|
| 事業コード | 013002 | |
| 事業名 | 審判講習会事業 | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (一社)大阪府サッカー協会/審判委員会 |
| | ② 担当 | 審判委員会 登録部 |
| | ③ 日程 | 平成30年4月～平成31年3月 |
| | ④ 場所 | 大阪府内 |
| | ⑤ 対象 | (一社)大阪府サッカー協会 登録審判員 (一社)大阪府サッカー協会 審判登録 受講者 |
| | ⑥ 目的 | 審判員の新規審判員の獲得・継続登録 |
| | ⑦ 方式 | (一社)大阪府サッカー協会主催の講習会開催・WEB更新の実施 |
| | ⑧ 参加数 | 講習会運営スタッフ 508名 |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:7,996,700円 実支出:6,866,741円 |
| | ⑩ 結果(成果) | 審判員の強化 新規・更新審判員 約12,350名 |

| | | |
|-------|---------------|--------------------------------|
| 事業コード | 013005 | |
| 事業名 | フットサル審判普及育成事業 | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (一社)大阪府サッカー協会/審判委員会 |
| | ② 担当 | 審判委員会 フットサル部 |
| | ③ 日程 | 通年 |
| | ④ 場所 | 千鳥体育館他 |
| | ⑤ 対象 | フットサル審判研修会、勉強会の実施 |
| | ⑥ 目的 | フットサル審判の普及・育成 |
| | ⑦ 方式 | 大阪府リーグ戦他 |
| | ⑧ 参加数 | 60チーム、約1,000名 |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:1,437,000円 実支出:1,037,915円 |
| | ⑩ 結果(成果) | フットサル審判員の獲得・育成、アクティブ審判員の獲得。 |

2) 審判技術研究事業

試合を通じて審判員の審判技術をチェックし、審判員に適切なアドバイスを行うことにより、審判技術の向上と上級資格者の確保並びに審判判定技術の整合性の確保に努める。

| | | |
|-------|--------------|--|
| 事業コード | 013003 | |
| 事業名 | 審判インストラクター事業 | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (一社)大阪府サッカー協会/審判委員会 |
| | ② 担当 | 審判委員会 指導者部 |
| | ③ 日程 | 通年 |
| | ④ 場所 | J-GREEN堺等、各大会会場 |
| | ⑤ 対象 | 大阪府協会所属審判員 |
| | ⑥ 目的 | 派遣審判員の審判技術向上 |
| | ⑦ 方式 | 大阪府サッカー協会が主管する試合や審判研修会へのインストラクターを派遣。インストラクター対象にスキルアップ研修会の開催。 |
| | ⑧ 参加数 | 延べ330名 |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:3,408,000円 実支出:2,916,990円 |
| | ⑩ 結果(成果) | 年間330試合にインストラクターを派遣し審判員を指導。 |

3) 審判強化育成事業

サッカー・フットサル1・2・3級審判員で、更に上級の資格を与えるために、当該審判員を指導・育成する事業。

| | | |
|-------|----------|---|
| 事業コード | 013004 | |
| 事業名 | 審判強化育成事業 | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (一社)大阪府サッカー協会/審判委員会 |
| | ② 担当 | 審判委員会 強化育成部 |
| | ③ 日程 | 通年 |
| | ④ 場所 | J-GREEN堺等、各大会会場 |
| | ⑤ 対象 | 大阪府サッカー協会登録審判員、3級審判インストラクター |
| | ⑥ 目的 | 審判員・審判インストラクターの育成および強化 |
| | ⑦ 方式 | 審判トレセンの開催 |
| | ⑧ 参加数 | 審判員6名、3級審判インストラクター60名 |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:1,617,000円 実支出:1,815,300円 |
| | ⑩ 結果(成果) | 参加審判員からアクティブ登録者を創出。3級インストラクターからは 名の2級インストラクターを創出。 |

4) 審判員派遣事業

協会の主催・主管・後援する事業に、審判員を派遣する事業。

| | | |
|-------|----------|-------------------------------------|
| 事業コード | 013006 | |
| 事業名 | 審判員派遣事業 | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (一社)大阪府サッカー協会/審判委員会 |
| | ② 担当 | 審判委員会 競技部 |
| | ③ 日程 | 通年 |
| | ④ 場所 | (一社)大阪府サッカー協会 |
| | ⑤ 対象 | 協会主催、主管の大会、協会で派遣依頼を受けた大会 |
| | ⑥ 目的 | 審判割り当て調整会議を実施し、派遣依頼を受けた大会への派遣審判員の決定 |
| | ⑦ 方式 | - |
| | ⑧ 参加数 | 8名程での割り当て調整会議 |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:768,000円 実支出:490,350円 |
| | ⑩ 結果(成果) | 審判割り当て調整会議を実施し、派遣依頼を受けた大会への審判員を派遣。 |

【その他の主要な事業等】

1 受託事業

(1) 事業開催の趣旨

(公財)日本サッカー協会が主催する国際試合・天皇杯全日本サッカー大会・各種別の全国大会の運営・管理を受託する。(一社)大阪府サッカー協会所属のJ・Fリーグの公式記録の作成業務を行う。又民間企業が開催するサッカーフェスティバル・大会の運営を受託する事業。

| | | |
|-------|----------|---|
| 事業コード | 030002 | |
| 事業名 | 記録員派遣事業 | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (一社)大阪府サッカー協会/事業本部 |
| | ② 担当 | 事業本部 |
| | ③ 日程 | 年間 |
| | ④ 場所 | Jリーグ・なでしこリーグ・Fリーグ他の試合会場 |
| | ⑤ 対象 | J1リーグ・J3リーグ・Jリーグカップ・なでしこリーグ1部・チャレンジリーグ・Fリーグ他 |
| | ⑥ 目的 | Jリーグ、Fリーグ等への公式記録員の派遣を通じて記録作成スキルの養成と、協会が独自に主催・主管・後援する大会の公式記録の作成スキームの確立 |
| | ⑦ 方式 | - |
| | ⑧ 参加数 | - |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:4,957,000円 実支出:4,699,608円 |
| | ⑩ 結果(成果) | 各試合の記録員を派遣し、リーグ全体の中で高い水準の記録運営が出来た。 |

| | | |
|-------|------------------|--|
| 事業コード | 030003 | |
| 事業名 | 第14回全日本大学フットサル大会 | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (公財)日本サッカー協会/(一社)大阪府サッカー協会 |
| | ② 担当 | 事業本部 |
| | ③ 日程 | 平成30年8月24日～8月26日 |
| | ④ 場所 | 大阪府岸和田市/岸和田市総合体育館 |
| | ⑤ 対象 | 地域代表及び開催地代表チーム他12チームの大学生チーム |
| | ⑥ 目的 | 第14回全日本大学フットサル選手権大会を、岸和田体育館にて開催し、大学フットサルの競技力向上を支援する。大会の主管をJFAより受けており、競技会の開催を通じて、フットサルの普及・活性化に寄与する。 |
| | ⑦ 方式 | リーグ戦/決勝トーナメント |
| | ⑧ 参加数 | 12チーム |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:764,000円 実支出:816,832円 |
| | ⑩ 結果(成果) | 順天堂大学が優勝。※大阪成蹊大学は準決勝敗退 |

| | | |
|-------|----------------------|---|
| 事業コード | 030004 | |
| 事業名 | 全日本フットサル選手権大会1stラウンド | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (公財)日本サッカー協会/(一社)大阪府サッカー協会 |
| | ② 担当 | 事業本部 |
| | ③ 日程 | 平成31年3月2日～3月4日 |
| | ④ 場所 | 大阪府岸和田市/岸和田市総合体育館 |
| | ⑤ 対象 | 「フットサル1種」または「フットサル2種」の種別で加盟登録した単独のチーム |
| | ⑥ 目的 | 第23回全日本フットサル選手権大会1stラウンドを、岸和田体育館にて開催。大会の主管をJFAより受けており、競技会の開催を通じて、フットサルの普及・活性化に寄与する。 |
| | ⑦ 方式 | トーナメント戦の1.2回戦 |
| | ⑧ 参加数 | 大会全体で26チーム中、8チームが参加 |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:463,000円 実支出:692,810円 |
| | ⑩ 結果(成果) | 名古屋オーシャンズが優勝。※シュライカー大阪は準決勝敗退 |

| | | |
|-------|-------------------------|---|
| 事業コード | 030005 | |
| 事業名 | 天皇杯 JFA第98回全日本サッカー選手権大会 | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (公財)日本サッカー協会・(公社)日本プロサッカーリーグ/(一社)大阪府サッカー協会 |
| | ② 担当 | 事業本部 |
| | ③ 日程 | 平成30年5月26日～12月24日 |
| | ④ 場所 | 大阪府大阪市・吹田市/ヤンマースタジアム長居・キンチョウスタジアム・パナソニックスタジアム吹田 |
| | ⑤ 対象 | 1種チーム:J1・J2及び各都道府県代表チーム+アマチュアシードチーム |
| | ⑥ 目的 | 天皇杯 JFA 第98回全日本サッカー選手権大会の主管を通じて、大阪府下におけるサッカー観戦の機会創出を図る。1回戦×1試合、2回戦×2試合、3回戦×2試合、4回戦×2試合を目論む。 |
| | ⑦ 方式 | トーナメント方式 |
| | ⑧ 参加数 | 88チーム |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:7,441,400円 実支出:1,952,653円 |
| | ⑩ 結果(成果) | 1回戦・2回戦までの3試合を主管運営。FC大阪は1回戦、ガンバは2回戦、セレッソは4回戦で敗退。 |

| | | |
|-------|------------------------------------|---|
| 事業コード | 030006 | |
| 事業名 | 高円宮杯 JFA U-18サッカープレミアリーグ2018 セントラル | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (公財)日本サッカー協会/(一社)大阪府サッカー協会 |
| | ② 担当 | 事業本部 |
| | ③ 日程 | 平成30年4月7日～4月8日 |
| | ④ 場所 | 大阪府大阪市/ヤンマースタジアム長居・キンチョウスタジアム |
| | ⑤ 対象 | 高円宮杯 JFA U-18サッカープレミアリーグ2018 プレミアリーグWEST参加の10チーム |
| | ⑥ 目的 | 高円宮杯 JFA U-18サッカープレミアリーグ2018WEST開幕戦セントラル開催を、ヤンマー・キンチョウにて開催。大会の主管をJFAより受けており、競技会の開催を通じて、U-18世代の活性化に寄与する。 |
| | ⑦ 方式 | リーグ戦5試合 |
| | ⑧ 参加数 | 10チーム |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:435,000円 実支出:407,926円 |
| | ⑩ 結果(成果) | 2日間で5試合のセントラル開催を主管運営し、大会の盛り上げを図った。 |

| | | |
|-------|-------------------------------------|--|
| 事業コード | 030007 | |
| 事業名 | JFA 第22回全日本U-15サッカー大会(旧:JFAプレミアカップ) | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (公財)日本サッカー協会/(一社)大阪府サッカー協会 |
| | ② 担当 | 事業本部 |
| | ③ 日程 | 平成30年5月3日～5月5日 |
| | ④ 場所 | 大阪府堺市/J-GREEN堺 |
| | ⑤ 対象 | 「第3種」または「女子登録」した加盟登録団体(チーム) |
| | ⑥ 目的 | 高円宮杯 JFA 第30回全日本U-15サッカー選手権大会を、J-GREEN堺にて開催。大会の主管をJFAより受けており、競技会の開催を通じて、3種世代の活性化に寄与する。 |
| | ⑦ 方式 | リーグ戦/決勝トーナメント |
| | ⑧ 参加数 | 12チーム |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:903,780円 実支出:1,974,286円 |
| | ⑩ 結果(成果) | 清水エスパルスジュニアユースが優勝、青森山田中学校が準優勝。 |

| | | |
|-------|----------------|---|
| 事業コード | 030008 | |
| 事業名 | スルガ銀行チャンピオンシップ | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (公財)日本サッカー協会・(公益)日本プロサッカーリーグ・南米サッカー連盟/(一社)大阪府サッカー協会 |
| | ② 担当 | 事業本部 |
| | ③ 日程 | 平成30年8月8日 |
| | ④ 場所 | ヤンマースタジアム長居 |
| | ⑤ 対象 | サッカーファミリー・一般の愛好家 |
| | ⑥ 目的 | クラブチーム国際試合戦の開催を通じて、国際試合の観戦機会の提供と、国際試合運営力の向上を図る |
| | ⑦ 方式 | セレッソ大阪vsインデペンデエンテ(アルゼンチン) |
| | ⑧ 参加数 | 公式入場者数10,035名 |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:1,302,300円 実支出:887,086円 |
| | ⑩ 結果(成果) | セレッソ大阪0-1で敗北。大阪市と協力し来場者促進を図った。 |

| | | |
|-------|-------------------|---|
| 事業コード | 030011 | |
| 事業名 | 大陽日酸セルジオサッカークリニック | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | 大陽日酸(株)・(一社)大阪府サッカー協会/(一社)大阪府サッカー協会事業本部 |
| | ② 担当 | 事業本部 |
| | ③ 日程 | 平成30年11月24日 |
| | ④ 場所 | 大阪府堺市/J-GREEN堺 フットサルコート |
| | ⑤ 対象 | 小学校4年生以下(U10)で構成された大阪府サッカー協会加盟の単独チーム |
| | ⑥ 目的 | スポーツ活動を通じて青少年の健全な育成を図ることを目的として2005年から開催 |
| | ⑦ 方式 | 5人制のリーグ戦(ミニサッカー・1ブロック6チーム)とクリニック、エキシビジョンマッチ |
| | ⑧ 参加数 | 36チーム 316名 |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:750,000円 実支出:536,747円 |
| | ⑩ 結果(成果) | 例年通り、多くの参加者に楽しんで頂けるイベントが出来た。 |

| | | |
|-------|----------------------------|--|
| 事業コード | 030012 | |
| 事業名 | JFA 第23回全日本U-15女子サッカー選手権大会 | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (公財)日本サッカー協会/(一社)大阪府サッカー協会 |
| | ② 担当 | 事業本部 |
| | ③ 日程 | 平成30年7月21日～7月29日 |
| | ④ 場所 | 大阪府堺市/J-GREEN堺 |
| | ⑤ 対象 | 中学生・小学生年代の登録選手を対象とした単独チーム(全国) |
| | ⑥ 目的 | JFAより大会主管を委託、競技会の開催を通じて、女子の大会運営力と女子サッカー全体の活性化に寄与する |
| | ⑦ 方式 | トーナメント戦 |
| | ⑧ 参加数 | 32チーム |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:1,861,000円 実支出:1,455,110円 |
| | ⑩ 結果(成果) | JFAアカデミー福島が優勝 ※FCヴェーリア・RESC GIRLS U-15は、1回戦で敗退 |

| | | |
|-------|----------------------------|--|
| 事業コード | 030013 | |
| 事業名 | JFA 第21回全日本女子U-18サッカー選手権大会 | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (公財)日本サッカー協会/(一社)大阪府サッカー協会 |
| | ② 担当 | 事業本部 |
| | ③ 日程 | 平成31年1月3日～1月6日 |
| | ④ 場所 | 大阪府堺市/J-GREEN堺 |
| | ⑤ 対象 | U-18の登録選手を対象とした高体連加盟チームを除く単独チーム(全国) |
| | ⑥ 目的 | JFAより大会主管を委託、競技会の開催を通じて、女子の大会運営力と女子サッカー全体の活性化に寄与する |
| | ⑦ 方式 | トーナメント方式 |
| | ⑧ 参加数 | 16チーム |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:1,253,000円 実支出:836,698円 |
| | ⑩ 結果(成果) | 日テレ・メニーナが優勝 ※C大阪堺ガールズは準優勝 |

| | | |
|-------|-----------------|--|
| 事業コード | 030017 | |
| 事業名 | JFAユニクロサッカーキッズ! | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (公財)日本サッカー協会/(一社)大阪府サッカー協会 |
| | ② 担当 | 事業本部 |
| | ③ 日程 | 平成31年1月27日 |
| | ④ 場所 | 京セラドーム大阪 |
| | ⑤ 対象 | U-6(未就学児) |
| | ⑥ 目的 | 健康で丈夫な体をつくり、豊かな感情や仲間意識など、社会生活を営むための基礎を培う |
| | ⑦ 方式 | 6人制の試合を3試合程度とキッズパークの実施 |
| | ⑧ 参加数 | 2,255人 |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:1,599,568円 実支出:1,306,313円 |
| | ⑩ 結果(成果) | 参加者:2,255名、総来場者数:5,100名、スタッフ:137名、合計7,492名となり、サッカーファミリー拡充に貢献 |

| | | |
|-------|----------------------------|--|
| 事業コード | 030030 | |
| 事業名 | 皇后杯 JFA 第40回全日本女子サッカー選手権大会 | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (公財)日本サッカー協会/(一社)大阪府サッカー協会 |
| | ② 担当 | 事業本部 |
| | ③ 日程 | 平成30年12月29日～平成31年1月1日 |
| | ④ 場所 | 大阪府吹田市/パナソニックスタジアム 吹田 |
| | ⑤ 対象 | 「女子」の種別で登録した加盟登録チーム |
| | ⑥ 目的 | 皇后杯 JFA 第40回全日本女子サッカー選手権大会の主管を通じて、大阪府下における女子サッカー観戦の機会創出と普及振興を図る。1回戦×1試合、2回戦×2試合、3回戦×2試合、4回戦×2試合を目論む。 |
| | ⑦ 方式 | トーナメント方式 |
| | ⑧ 参加数 | 48チーム |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:2,010,000円 実支出:961,046円 |
| | ⑩ 結果(成果) | 準決勝・決勝の3試合を主管運営。日テレベレーザが優勝。OFA万博FCで元日イベント開催。 |

| | | |
|-------|-------------------------------|--|
| 事業コード | 030031 | |
| 事業名 | 高円宮杯 JFA 第30回全日本U-15サッカー選手権大会 | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (公財)日本サッカー協会/(一社)大阪府サッカー協会 |
| | ② 担当 | 事業本部 |
| | ③ 日程 | 平成30年12月22日、23日、25日 |
| | ④ 場所 | 大阪府堺市/J-GREEN堺 |
| | ⑤ 対象 | 「第3種」または「女子登録」した加盟登録団体(チーム) |
| | ⑥ 目的 | 同大会の1、2回戦、準々決勝の14試合を主管をJFAより受けており、競技会の開催を通じて、3種世代の活性化に寄与する |
| | ⑦ 方式 | トーナメント方式 |
| | ⑧ 参加数 | 16/32チーム |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:1,265,280円 実支出:875,822円 |
| | ⑩ 結果(成果) | 1回戦～準々決勝の14試合を主管運営。3種・CY連盟の大会運営スキームを確立。 |

| | | |
|-------|-----------------|--|
| 事業コード | 030036 | |
| 事業名 | キリンチャレンジカップ2018 | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (公財)日本サッカー協会/(一社)大阪府サッカー協会 |
| | ② 担当 | 事業本部 |
| | ③ 日程 | 平成30年9月7日 |
| | ④ 場所 | 大阪府吹田市/パナソニックスタジアム吹田 |
| | ⑤ 対象 | サッカーファミリー・一般の愛好家 |
| | ⑥ 目的 | 日本代表戦の開催を通じて、国際試合の観戦機会の提供と、国際試合運営力の向上を図る |
| | ⑦ 方式 | 日本代表vsコスタリカ代表 |
| | ⑧ 参加数 | 公式入場者数33,891名 |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:2,603,800円 実支出:2,453,251円 |
| | ⑩ 結果(成果) | 日本がコスタリカに2-0で勝利。9月4日に予定されていた札幌の試合が地震のため中止になったため森保ジャパン初戦となった。 |

II 競技会事業

(1) 事業開催の趣旨

本事業は、各カテゴリーの大会を主催・主管・後援することにより、登録チームの強化・育成をはかり、上部リーグへの昇格、全国大会への出場資格に繋がる。又、競技会を通じて府民のサッカー・フットサルの技術の高揚とサッカー・フットサルの普及・発展に寄与する事業である。シニアから女子までの府内の登録チームによる全国大会の予選リーグ・トーナメント大会、並びに府内リーグ・トーナメント大会の開催事業。

1) 本部事業

| | | |
|-------|------------------------|---|
| 事業コード | 030014 | |
| 事業名 | 第23回大阪サッカー選手権大会(天皇杯予選) | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (一社)大阪府サッカー協会/事業本部 |
| | ② 担当 | 事業本部 |
| | ③ 日程 | 平成30年4月1日・4月22日・5月13日 |
| | ④ 場所 | 大阪府堺市・大阪府大阪市/J-GREEN堺・キンチョウスタジアム |
| | ⑤ 対象 | 大学・社会人の代表チーム |
| | ⑥ 目的 | 第98回(2018年度)天皇杯全日本サッカー選手権大会に出場するための予選大会 |
| | ⑦ 方式 | JFL・大学・社会人によるトーナメント方式 |
| | ⑧ 参加数 | JFL1・大学2・関西社会人2・大阪社会人1の代表による計6チーム |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:1,662,600円 実支出:1,863,908円 |
| | ⑩ 結果(成果) | 優勝:FC大阪/FC大阪は第98回天皇杯全日本サッカー選手権大会に大阪府代表として出場 |

| | | |
|-------|----------------------------|--|
| 事業コード | 030034 | |
| 事業名 | 第24回大阪サッカー選手権大会(天皇杯予選)大学予選 | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (一社)大阪府サッカー協会/事業本部 |
| | ② 担当 | 事業本部 |
| | ③ 日程 | 平成30年12月15日～平成31年3月24日 |
| | ④ 場所 | 大阪経済大学G 他 |
| | ⑤ 対象 | 大阪府下の学連加盟チームの参加希望チーム |
| | ⑥ 目的 | 第24回大阪サッカー選手権大会(天皇杯予選)に出場する大学を決める予選 |
| | ⑦ 方式 | トーナメント方式 |
| | ⑧ 参加数 | OFA傘下で関西学生サッカー連盟に登録する大学16チーム |
| | ⑨ 規模 | 実施予算:88,000円 実支出:212,160円 |
| | ⑩ 結果(成果) | 近畿大学、大阪学院大学の2校が第24回大阪サッカー選手権大会に大学代表として出場 |

| | | |
|-------|---------------------------|---|
| 事業コード | 030037 | |
| 事業名 | U-12ジュニアサッカーワールドチャレンジ2018 | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (一社)大阪府サッカー協会・U-12ジュニアサッカーワールドチャレンジ2018実行委員会/U-12ジュニアサッカーワールドチャレンジ2018実行委員会 |
| | ② 担当 | 事業本部 |
| | ③ 日程 | 平成30年8月23日～8月26日 |
| | ④ 場所 | 万博記念球技場・OFA万博フットボールセンター |
| | ⑤ 対象 | バルセロナ、アーセナル他海外4チームと日本20チーム(JFATレセン大阪U-12も出場) |
| | ⑥ 目的 | 2017年度まで東京で開催されていた本大会が2018年度より大阪開催となった。U12年代の国内・国外の24チームが出場する。国外からはFCバルセロナ・アーセナル等が参加。 |
| | ⑦ 方式 | リーグ戦/決勝トーナメント |
| | ⑧ 参加数 | 合計24チーム |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:497,280円 実支出:497,280円 |
| | ⑩ 結果(成果) | バルセロナが優勝、JFATレセン大阪U-12は4位という結果となった。 |

2) シニア委員会事業

| | | |
|-------|-------------|---|
| 事業コード | 009002 | |
| 事業名 | 大阪シニアサッカー大会 | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (一社)大阪府サッカー協会/シニア委員会 |
| | ② 担当 | シニア委員会 |
| | ③ 日程 | 平成30年4月1日～6月24日 |
| | ④ 場所 | ①大阪府堺市 ②J-GREEN堺 |
| | ⑤ 対象 | シニア加盟登録チーム・選手による選手権大会 第8回大阪シニア(0-60)サッカー大会 第21回大阪シニア(0-50)サッカー大会 第20回大阪シニア(0-40)サッカー大会 ※カテゴリー毎に年齢制限有り |
| | ⑥ 目的 | 40歳代・50歳代・60歳代の全国大会が開催されており、その関西大会及び全国シニア大会への進出チームを決定するため、シニア世代の競技力維持向上と生涯スポーツの振興を図ることを目的として各年代別の競技会を開催する。 |
| | ⑦ 方式 | 予選リーグ後、代表決定戦を実施 |
| | ⑧ 参加数 | 0-60/8チーム 0-50/16チーム 0-40/18チーム 約1,200名 |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:1,831,500円 実支出:1,974,256円 |
| | ⑩ 結果(成果) | 0-60:2018ニコルスシニア、0-50:ニコルスFCシニア、0-40:WONDERSが優勝 |

| | | |
|-------|------------------|---|
| 事業コード | 009004 | |
| 事業名 | 府民スポーツレクリエーション大会 | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | 2018府民スポーツレクリエーションフェスティバル組織委員会/(一社)大阪府サッカー協会/シニア委員会 |
| | ② 担当 | シニア委員会 |
| | ③ 日程 | 平成30年11月4日～11月11日 |
| | ④ 場所 | ①大阪府堺市 ②J-GREEN堺 |
| | ⑤ 対象 | シニア加盟登録チーム・選手及び、未登録チーム・選手 ※カテゴリー毎に年齢制限有り |
| | ⑥ 目的 | シニア世代のサッカー競技の向上・普及を図るために、加盟登録チーム及び一般参加チームにより競技会を開催する。生涯スポーツの振興を図ることを目的として各年代別の競技会を開催する。 |
| | ⑦ 方式 | トーナメント戦 |
| | ⑧ 参加数 | 0-60/8チーム 0-50/15チーム 0-40/21チーム 約1,300名 |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:955,000円 実支出:993,500円 |
| | ⑩ 結果(成果) | 各カテゴリー内グループリーグを行った。 |

| | | |
|-------|--------------|--|
| 事業コード | 009005 | |
| 事業名 | 大阪シニアサッカーリーグ | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (一社)大阪府サッカー協会/シニア委員会 |
| | ② 担当 | シニア委員会 |
| | ③ 日程 | 平成30年12月23日～平成31年3月10日 |
| | ④ 場所 | ①大阪府堺市 ②J-GREEN堺 |
| | ⑤ 対象 | シニア加盟登録チーム・選手 |
| | ⑥ 目的 | 40歳代・50歳代・60歳代のシニアチーム・選手の試合機会の増大により、シニア世代の競技力維持向上と生涯スポーツの振興を図ることと、登録チーム数の増大を目的として加盟登録チームによるリーグ戦を開催する。※本年度より、0-60のカテゴリーも実施する。 |
| | ⑦ 方式 | カテゴリー別ランク別のリーグ戦を実施 |
| | ⑧ 参加数 | 0-60/9チーム、0-50/16チーム、0-40/18チーム 約1,200名 |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:2,762,000円 実支出:2,505,140円 |
| | ⑩ 結果(成果) | 各カテゴリー内でのグループリーグを行った。 |

3) 社会人委員会事業

| | | |
|-------|-------------|---------------------------------|
| 事業コード | 001002 | |
| 事業名 | 第8回大阪社会人カップ | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (一社)大阪府サッカー協会/大阪府社会人サッカー連盟 |
| | ② 担当 | 大阪府社会人サッカー連盟 |
| | ③ 日程 | 平成30年4月1日～5月27日 |
| | ④ 場所 | 大阪府内グラウンド |
| | ⑤ 対象 | 大阪社会人登録チーム |
| | ⑥ 目的 | サッカー競技の普及・向上。全国クラブサッカー選手権大会の予選。 |
| | ⑦ 方式 | 参加チームによる抽選の後トーナメント方式 |
| | ⑧ 参加数 | 37チーム740名 |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:1,600,000円 実支出:1,384,684円 |
| | ⑩ 結果(成果) | 優勝 豊中FC、関西大会に出場 |

| | | |
|-------|----------|---|
| 事業コード | 001003 | |
| 事業名 | 大阪社会人リーグ | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (一社)大阪府サッカー協会/大阪府社会人サッカー連盟 |
| | ② 担当 | 大阪府社会人サッカー連盟 |
| | ③ 日程 | 平成30年6月3日～12月9日 |
| | ④ 場所 | 大阪府内各グラウンド |
| | ⑤ 対象 | 大阪府社会人登録チーム |
| | ⑥ 目的 | 社会人のサッカー技術の向上・普及。各部の上位チームが昇格していく大会。 |
| | ⑦ 方式 | 登録チームをリーグに分けてリーグ戦を開催。1部優勝・準優勝チームは関西リーグへ挑戦できる。 |
| | ⑧ 参加数 | 122チーム2,440名 |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:16,890,000円 実支出:18,308,580円 |
| | ⑩ 結果(成果) | 優勝 1部 1位:阪南バニックスFC 2位:豊中FC 3位:ルート11 2部 【A】貝塚フットボールクラブ 【B】大阪ガス株式会社サッカー部 【C】ジャラン・ジャラン 【D】OSU.FC 3部 【A】熊取F.C 【B】大和田FC 【C】エルドラトFC 【D】堺シティスポーツクラブ 【E】ミズノ 【F】FK COBALT 【G】AUELU大阪FC 【H】FC BUSON |

| | | |
|-------|--------------|---------------------------------|
| 事業コード | 001004 | |
| 事業名 | 第7回大阪マスターズ大会 | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (一社)大阪府サッカー協会/大阪府社会人サッカー連盟 |
| | ② 担当 | 大阪府社会人サッカー連盟 |
| | ③ 日程 | 平成30年6月2日 |
| | ④ 場所 | OFA万博フットボールセンター |
| | ⑤ 対象 | 社会人登録チームで、年齢35歳以上の協会登録選手 |
| | ⑥ 目的 | サッカー競技の普及・向上を図り関西・全国マスターズの予選である |
| | ⑦ 方式 | 参加チームによる抽選後リーグ戦 |
| | ⑧ 参加数 | 5チーム約100名 |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:190,000円 実支出:239,600円 |
| | ⑩ 結果(成果) | HOKOKU FCが優勝し、関西大会に出場 |

| | | |
|-------|-----------------|--|
| 事業コード | 001005 | |
| 事業名 | 大阪府社会人サッカー選手権大会 | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (一社)大阪府サッカー協会/大阪府社会人サッカー連盟 |
| | ② 担当 | 大阪府社会人サッカー連盟 |
| | ③ 日程 | 平成30年12月9日～31年3月10日 |
| | ④ 場所 | ヤンマーフィールド長居他 |
| | ⑤ 対象 | 社会人登録チーム |
| | ⑥ 目的 | サッカー競技の普及・向上を図る目的で開催し真の大阪社会人のトップチームを決める。全国社会人サッカー大会関西予選、岡山対抗戦出場チーム、大阪サッカー選手権(天皇杯予選)社会人連盟代表を決定する。 |
| | ⑦ 方式 | 社会人登録チームの2部から3部までのチームを分け予選リーグ戦を行い、1位チームはシードされている1部チームとのトーナメント戦を行う |
| | ⑧ 参加数 | 77チーム約1,540人 |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:4,975,000円 実支出:4,569,591円 |
| | ⑩ 結果(成果) | 優勝:F.C. Lazo 準優勝:アイン食品株式会社サッカー部 3位:SOGNO FC |

4) 地域委員会事業

| | | |
|-------|---------------------------------|--|
| 事業コード | 011002 | |
| 事業名 | 平成30年度 協会杯第41回 大阪・市町村サッカー連盟優勝大会 | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (一社)大阪府サッカー協会/地域委員会・参加各市町村サッカー連盟 |
| | ② 担当 | 地域委員会 |
| | ③ 日程 | 平成31年2月2日～3月21日 |
| | ④ 場所 | J-GREEN堺、鶴見緑地球技場、OFA万博フットボールセンター、ヤンマーフィールド |
| | ⑤ 対象 | 1種登録選手及び市町村連盟代表選手 |
| | ⑥ 目的 | サッカーの技術向上及び、各市町村連盟の親睦を深め技術の高揚と普及 |
| | ⑦ 方式 | トーナメント方式 |
| | ⑧ 参加数 | 20チーム688名 |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:1,379,360円 実支出:1,218,994円 |
| | ⑩ 結果(成果) | 優勝 枚方市 準優勝 守口市 |

5) 2種委員会事業

| | | |
|-------|-------------------------|---|
| 事業コード | 003002 | |
| 事業名 | 大阪高校春季サッカー大会(男子の部・女子の部) | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | 大阪高等学校体育連盟/(一社)大阪府サッカー協会 |
| | ② 担当 | 大阪高等学校体育連盟 |
| | ③ 日程 | 平成30年4月8日～6月3日 |
| | ④ 場所 | J-GREEN堺 他 |
| | ⑤ 対象 | 大阪高等学校体育連盟加盟登録高等学校生徒(平成11年4月2日以降に生まれた者) |
| | ⑥ 目的 | サッカー競技を通じて、体力の向上を目指し、スポーツ精神の涵養と人格形成に資すると共に、高等学校の部活動を育成することを目的とし、全国高等学校総合体育大会・近畿高等学校サッカー選手権大会の予選も兼ねる |
| | ⑦ 方式 | トーナメント+ベスト4によるリーグ戦 |
| | ⑧ 参加数 | 男子:201チーム 参加人数延べ6,000人 女子:23チーム 参加人数延べ550人 |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:2,255,000円 実収支:1,999,908円 |
| | ⑩ 結果(成果) | 男子 優勝:関西大学北陽 準優勝:阪南大高 3位:金光大阪 4位:履正社 5位:大阪桐蔭 女子 優勝:大阪学芸 準優勝:大商学園 3位:大阪桐蔭 追手門学院 |

| | | |
|-------|---------------------|---|
| 事業コード | 003003 | |
| 事業名 | 第97回全国高校サッカー選手権大阪大会 | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | 大阪高等学校体育連盟・(一社)大阪府サッカー協会 /大阪高等学校体育連盟 |
| | ② 担当 | 大阪高等学校体育連盟 |
| | ③ 日程 | 平成30年8月6日の開会式から11月17日の決勝までの土・日・祝で開催 |
| | ④ 場所 | 各加盟校の学校・J-GREEN堺・キンチョウスタジアム |
| | ⑤ 対象 | 大阪府下の高校生 |
| | ⑥ 目的 | サッカー競技を通じて体力の向上を目指し、スポーツ精神の涵養と人格形成に資すると共に、高等学校の部活動を育成することを目的とする。全国高校サッカー選手権大会の予選も兼ねる。 |
| | ⑦ 方式 | トーナメント方式 |
| | ⑧ 参加数 | 210校 参加人数延べ6,500名 |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:10,075,000円 実支出:8,193,565円 |
| | ⑩ 結果(成果) | 優勝:大阪学院 準優勝:東海大仰星 3位:履正社 阪南大高 |

| | | |
|-------|------------------|--|
| 事業コード | 003004 | |
| 事業名 | 大阪高校総合体育大会(女子の部) | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | 大阪高等学校体育連盟/(一社)大阪府サッカー協会 |
| | ② 担当 | 大阪高等学校体育連盟 |
| | ③ 日程 | 平成30年8月19日～10月14日 |
| | ④ 場所 | J-GREEN堺 他 |
| | ⑤ 対象 | 大阪高等学校体育連盟加盟登録高等学校生徒(平成11年4月2日以降に生まれた者) |
| | ⑥ 目的 | サッカー競技を通じて、体力の向上を目指し、スポーツ精神の涵養と人格形成に資すると共に、高等学校の部活動を育成することを目的とする。全国高等学校女子サッカー選手権関西大会の予選も兼ねる。 |
| | ⑦ 方式 | トーナメント |
| | ⑧ 参加数 | 27チーム 参加人数延べ650人 |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:197,000円 実支出:151,300円 |
| | ⑩ 結果(成果) | 優勝:大商学園 準優勝:大阪桐蔭 3位:大阪学芸 4位:追手門学院 |

| | | |
|-------|--------------------|---|
| 事業コード | 003005 | |
| 事業名 | 大阪高校新人サッカー大会(女子の部) | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | 大阪高等学校体育連盟/(一社)大阪府サッカー協会 |
| | ② 担当 | 大阪高等学校体育連盟 |
| | ③ 日程 | 平成31年1月14日～2月17日 |
| | ④ 場所 | J-GREEN堺 他 |
| | ⑤ 対象 | 大阪高等学校体育連盟加盟登録高等学校生徒(平成12年4月2日以降に生まれた者) |
| | ⑥ 目的 | サッカー競技を通じて、体力の向上を目指し、スポーツ精神の涵養と人格形成に資すると共に、高等学校の部活動を育成することを目的とする。 |
| | ⑦ 方式 | トーナメント |
| | ⑧ 参加数 | 女子:24チーム 参加人数延べ600人 |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:177,000円 実支出:119,732円 |
| | ⑩ 結果(成果) | 優勝:大阪学芸 準優勝:大商学園 3位:大阪桐蔭 追手門学院 |

| | | |
|-------|-------------------------------|--|
| 事業コード | 003006 | |
| 事業名 | 高円宮杯JFA U-18サッカーリーグ2018 OSAKA | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (一社)大阪府サッカー協会 |
| | ② 担当 | 2種委員会 |
| | ③ 日程 | 平成30年1月20日～10月13日 |
| | ④ 場所 | 参加チームの学校・J-GREEN堺 |
| | ⑤ 対象 | U-18対象年齢(平成11年4月2日以降に生まれた者) |
| | ⑥ 目的 | 育成年代の強化とリーグ戦文化の構築(プリンスリーグ関西への昇降の為の予選及び地域リーグの活性化) |
| | ⑦ 方式 | 1部1グループ、2部2グループ、3部4グループ、4部176チーム 前後期2回戦制のリーグ戦 |
| | ⑧ 参加数 | 245チーム(1部10チーム、2部20チーム、3部39チーム、4部176チーム) |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:12,805,000円 実支出:12,187,009円 |
| | ⑩ 結果(成果) | 1部:1位 興國 2位 大阪学院 3位 ガンバ大阪B |

| | | |
|-------|---------------------|--|
| 事業コード | 003007 | |
| 事業名 | 近畿高等学校サッカー選手権大会(男女) | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | 近畿高等学校体育連盟・大阪府教育委員会・(一社)関西サッカー協会・(一社)大阪府サッカー協会/ 近畿高等学校体育連盟サッカー専門部・大阪高等学校体育連盟サッカー専門部 |
| | ② 担当 | 大阪高等学校体育連盟 |
| | ③ 日程 | 6月中旬 |
| | ④ 場所 | J-GREEN堺等 |
| | ⑤ 対象 | 1999年4月2日以降に生まれた男女 |
| | ⑥ 目的 | 男子は近畿地区のチャンピオンを決定する大会、女子は全国高校総体出場校2校を決定する大会である |
| | ⑦ 方式 | トーナメント形式 |
| | ⑧ 参加数 | 男子は大阪4校、京都2校、滋賀2校、奈良2校、兵庫3校、和歌山2校、開催府県1校の16校 女子は各府県6校 350人 |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:4,920,000円 実支出:2,699,282円 (男子)優勝:大阪桐蔭高等学校・阪南大学高等学校 ※男子は大阪北部地震の為、決勝戦を行わず同校優勝。 (女子)優勝:日ノ本学園高等学校 |

| | | |
|-------|--------------------------------|--|
| 事業コード | 003008 | |
| 事業名 | 第8回(一社)大阪府サッカー協会2種選抜(U-17)海外遠征 | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (一社)大阪府サッカー協会 |
| | ② 担当 | 2種委員会 |
| | ③ 日程 | 平成31年3月21日～3月29日(7泊9日) |
| | ④ 場所 | ヨーロッパ(オランダ) |
| | ⑤ 対象 | 高体連・クラブチームを含みU-17(高校1年・2年) |
| | ⑥ 目的 | 2種関係の指導者、選手が海外のサッカー先進国に直接触れることにより、競技のエッセンス指導のノウハウ・施設・文化等を知り、選手の強化や指導の研鑽、組織の活性化を計る |
| | ⑦ 方式 | 3～4回の選考を行い、選手を決定⇒海外先で試合およびトレーニングを行う |
| | ⑧ 参加数 | 選手16名、スタッフ8名 |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:10,700,000円 実支出:10,091,521円 |
| | ⑩ 結果(成果) | 練習試合を5ゲーム、クリニック2回、公式試合観戦1試合体験し、サッカー先進国に直接触れることができ、競技のエッセンス、指導のノウハウ、文化を知り、選手の強化および2種関係の活性化ができた。 |

6) 3種委員会事業

| | | |
|-------|---------------------------------|--|
| 事業コード | 004002 | |
| 事業名 | 高円宮杯U-15サッカーリーグ2018大阪(アドバンスリーグ) | |
| 事業内容 | ① 主催 | (一社)大阪府サッカー協会/第3種委員会 |
| | ② 担当 | 第3種委員会 |
| | ③ 日程 | 平成30年2月～平成30年10月 |
| | ④ 場所 | 大阪府内各グラウンド |
| | ⑤ 対象 | U-15を対象とし、女子の出場も認める |
| | ⑥ 目的 | サッカー競技を通じて体力の向上を目指し、スポーツ精神の涵養と人格の形成に資するとともに、中学生チームの活動を育成し、技術の向上と普及を目的とする。また、高円宮杯第30回全日本ユース(U-15)サッカー選手権の予選も兼ねる。 |
| | ⑦ 方式 | リーグ戦方式(2回戦)、1部～4部までの部別制、成績順位により昇降格あり |
| | ⑧ 参加数 | 1部10チーム、2部2ブロック20チーム、3部4ブロック40チーム、4部6ブロック60チーム |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:3,486,800円 実支出:3,735,694円 |
| | ⑩ 結果 | 1部:大阪市ジュネッスFC 2部A:高槻ジークFC 2部B:岩田FC 3部A:東海大仰星FC 3部B:FC Liens 3部C:アイリスFC住吉 4部A:大阪セントラルFC-2nd 4部B:リーベSC 4部C:大阪狭山SC 4部D:和泉FC-2nd 4部E:SC大阪エルマーノSC-2nd 4部F:FC TIAMO交野 4部G:FC Unione柏原 |

| | | |
|-------|----------------------------|---|
| 事業コード | 004003 | |
| 事業名 | 高円宮杯全日本ユース(U-15)大阪府予選プレーオフ | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (一社)大阪府サッカー協会/第3種委員会 |
| | ② 担当 | 第3種委員会 |
| | ③ 日程 | 平成30年10月 |
| | ④ 場所 | 大阪府内各グラウンド |
| | ⑤ 対象 | U-15を対象とし、女子の出場も認める |
| | ⑥ 目的 | サッカー競技を通じて体力の向上を目指し、スポーツ精神の涵養と人格の形成に資するとともに、中学生チームの活動を育成し、技術の向上と普及を目的とする。また、高円宮杯第29回全日本ユース(U-15)サッカー選手権の予選も兼ねる。 |
| | ⑦ 方式 | アドバンスリーグの結果を受けて、各ディビジョンからの上位チームによる、ノックダウン形式 |
| | ⑧ 参加数 | 1部4位~10位、2部通し順位1位~9位、3部通し順位1位~4位、4部通し順位1位~4位の24チーム |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:726,600円 実支出:653,986円 |
| | ⑩ 結果(成果) | 関西大会出場 ハ尾大正FC アイリスFC住吉 |

| | | |
|-------|-----------------|--|
| 事業コード | 004004 | |
| 事業名 | 2018大阪アドバンスリーグα | |
| 事業内容 | ① 主催 | (一社)大阪府サッカー協会/第3種委員会 |
| | ② 担当 | 第3種委員会 |
| | ③ 日程 | 平成30年5月~9月 |
| | ④ 場所 | 大阪府内各グラウンド |
| | ⑤ 対象 | U-15を対象とし、女子の出場も認める |
| | ⑥ 目的 | サッカー競技を通じて体力の向上を目指し、スポーツ精神の涵養と人格の形成に資するとともに、中学生チームの活動を育成し、技術の向上と普及を目的とする |
| | ⑦ 方式 | リーグ戦方式(1回戦) 順位決定トーナメント |
| | ⑧ 参加数 | 5(A~E)ブロック各9チーム(計45チーム) |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:774,000円 実支出:591,624円 |
| | ⑩ 結果 | A:藤陽FC B:摂津FC C:大阪城陽FC D:あびなん E:SETTSU THE FIRST FC F:大阪市立下福島中学校 |

| | | |
|-------|-----------------------|--|
| 事業コード | 004005 | |
| 事業名 | フューチャーリーグ大阪2018(U-13) | |
| 事業内容 | ① 主催 | (一社)大阪府サッカー協会/第3種委員会 |
| | ② 担当 | 第3種委員会 |
| | ③ 日程 | 平成30年5月~平成31年1月末 |
| | ④ 場所 | 大阪府内各グラウンド |
| | ⑤ 対象 | U-13(中学1年生)を対象 |
| | ⑥ 目的 | サッカー競技を通じて体力の向上を目指し、スポーツ精神の涵養と人格形成に資するとともに中学生チームの活動を育成し、選手の技術の向上と普及を目的とする。 |
| | ⑦ 方式 | リーグ戦方式 2回戦制。 |
| | ⑧ 参加数 | 1部10チーム、2部2ブロック20チーム、3部2ブロック20チーム、4部5ブロック49チーム |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:1,700,000円 実支出:1,453,696円 |
| | ⑩ 結果 | 1部:アイリスFC住吉 2部A:枚方FCマシア 2部B:Erba Football Club 3部A:リーベSC 3部B:東海大仰星FC 3部C:JSC SAKAI 4部A:東淀川FC2nd 4部B:FC BRAVO 4部C:Erba Football Club2nd |

| | | |
|-------|-----------------------|--|
| 事業コード | 004006 | |
| 事業名 | 大阪招待中学生サッカー大会(ガンバカップ) | |
| 事業内容 | ① 主催 | (一社)大阪府サッカー協会/第3種委員会 |
| | ② 担当 | 第3種委員会 |
| | ③ 日程 | 予選 平成30年10月~平成31年2月 本大会 平成31年3月29日~31日 |
| | ④ 場所 | 大阪府内各グラウンド |
| | ⑤ 対象 | U-14を対象とし、女子の出場も認める |
| | ⑥ 目的 | 大阪予選を勝ち抜いた20チームと府外20チームを招待。技術の向上を図り、親睦を深める |
| | ⑦ 方式 | 予選はリーグ戦及び決定戦を併用。本戦は5チームのリーグ戦の結果による順位トーナメント戦。 |
| | ⑧ 参加数 | 予選 120チーム 本戦 40チーム750名 |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:2,712,200円 実支出:2,747,085円 |
| | ⑩ 結果 | 北ブロック優勝:ガンバ大阪門真ジュニアユース 南ブロック優勝:アイリスFC住吉 |

| | | |
|-------|-----------------|--|
| 事業コード | 004008 | |
| 事業名 | 大阪市U-14フレッシュリーグ | |
| 事業内容 | ① 主催 | (一社)大阪府サッカー協会 / 第3種委員会 |
| | ② 担当 | 第3種委員会 |
| | ③ 日程 | 前後期リーグ 平成30年9月～平成31年1月 決勝トーナメント 平成31年3月 |
| | ④ 場所 | 大阪府内各グラウンド |
| | ⑤ 対象 | U-14を対象とし、女子の出場も認める |
| | ⑥ 目的 | 大阪市内クラブユースと中体連チームの交流・親睦を目的し、協会登録チームの増加を目指す |
| | ⑦ 方式 | 前期リーグ・後期リーグの2回戦制 後期リーグ上位による決勝トーナメント |
| | ⑧ 参加数 | 大阪市内クラブユース・中体連登録 52チーム |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:393,880円 実支出:279,752円 |
| | ⑩ 結果 | 1部 優勝 住吉大社SC 準優勝 大阪城陽FC 2部 優勝 FC平野 準優勝 大阪市立天王寺中学校 |

| | | |
|-------|-----------------|--|
| 事業コード | 004009 | |
| 事業名 | サンライズリーグ2部参入決定戦 | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (一社)大阪府サッカー協会 / 第3種委員会 |
| | ② 担当 | 第3種委員会 |
| | ③ 日程 | 平成30年11月23日 |
| | ④ 場所 | J-GREEN堺 |
| | ⑤ 対象 | U-15を対象とし、女子の出場も認める |
| | ⑥ 目的 | 2019年度よりサンライズリーグ2部新設を受け、大阪からの初年度参加チームを決定すること |
| | ⑦ 方式 | 対象の2チームの1試合のみの試合 |
| | ⑧ 参加数 | 2チーム:40名 |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:50,000円 実支出:47,860円 |
| | ⑩ 結果(成果) | 長野フットボールクラブ が勝ち2019年関西サンライズリーグ2部に参加 |

7) クラブユース事業

| | | |
|-------|------------------------------|--|
| 事業コード | 005002 | |
| 事業名 | 日本クラブユースサッカー選手権大会(U-15)大阪府予選 | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (一社)大阪府サッカー協会 / 大阪府クラブユース連盟 |
| | ② 担当 | 大阪府クラブユース連盟 |
| | ③ 日程 | 平成30年4月7日～5月6日 |
| | ④ 場所 | J-GREEN堺、大阪府内各会場 |
| | ⑤ 対象 | U-15を対象とし、女子の出場も認める |
| | ⑥ 目的 | 日本の将来を担うユース年代の選手のサッカー技術向上と健全な心身の育成を図るとともに、クラブチームの普及と発展を目標とし、連盟第3種加盟登録チームの全てが参加できる大会として実施すること |
| | ⑦ 方式 | トーナメント戦方式 |
| | ⑧ 参加数 | 72チーム |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:1,843,000円 実支出:1,864,074円 |
| | ⑩ 結果(成果) | 優勝:大阪市ジュネッサ 準優勝:柏田SC 3位:IRIS生野SS、長野FC |

| | | |
|-------|---------------------------|---|
| 事業コード | 005003 | |
| 事業名 | 大阪府クラブユースサッカートーナメント(U-14) | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (一社)大阪府サッカー協会 / 大阪府クラブユース連盟 |
| | ② 担当 | 大阪府クラブユース連盟 |
| | ③ 日程 | 平成30年10月13日～12月24日 |
| | ④ 場所 | J-GREEN堺、大阪府内各会場 |
| | ⑤ 対象 | U-14を対象とし、女子の出場も認める |
| | ⑥ 目的 | 日本サッカーの将来を担うユース(U-14)の少年たちのサッカー技術向上、健全な心身の育成を図ることを目的とし、連盟第3種加盟登録チームの全てが参加できる大会として実施すること |
| | ⑦ 方式 | 予選リーグおよびトーナメント戦方式 |
| | ⑧ 参加数 | 76チーム |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:892,000円 実支出:928,800円 |
| | ⑩ 結果(成果) | 優勝:ガンバ大阪 準優勝:ガンバ大阪門真 3位:千里丘FC 4位:セレッソ大阪西U-15 |

8) 4種委員会事業

| | | |
|-------|------------------|---|
| 事業コード | 006002 | |
| 事業名 | 4種リーグU10 U11 U12 | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (一社)大阪府サッカー協会/第4種委員会 |
| | ② 担当 | 第4種委員会 |
| | ③ 日程 | 平成30年4月～平成31年3月 |
| | ④ 場所 | 大阪府下全域 |
| | ⑤ 対象 | それぞれ、U10～U12以下の男女 |
| | ⑥ 目的 | リーグ戦の文化を広め、サッカーの底上げを目指す。多くの選手に多くの試合経験をさせる。 |
| | ⑦ 方式 | 各カテゴリーで地区・ゾーン毎にリーグ戦を行う。U12リーグの結果は全日本少年サッカー大会中央大会へ反映される。 |
| | ⑧ 参加数 | 516チーム(約8256人/516チーム×16名) |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:10,129,500円 実支出:7,959,718円 |
| | ⑩ 結果(成果) | 各年代のリーグ戦で高レベルの試合が数多く行われている。 |

| | | |
|-------|---------------------------|---|
| 事業コード | 006003 | |
| 事業名 | ライフカップ第42回 大阪府少年サッカー選手権大会 | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (一社)大阪府サッカー協会/第4種委員会 |
| | ② 担当 | 第4種委員会 |
| | ③ 日程 | 平成30年5月～7月 |
| | ④ 場所 | 大阪府下全域 |
| | ⑤ 対象 | 12歳以下の男女 |
| | ⑥ 目的 | 9月開催のニッポンハムカップ(関西大会)への大阪府代表チーム(4チーム)の決定 |
| | ⑦ 方式 | 8地区で予選を行い勝ち上がった32チームによるトーナメント方式 |
| | ⑧ 参加数 | 309チーム(約4,944名:309チーム×16名) |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:2,567,000円 実支出:2,257,194円 |
| | ⑩ 結果(成果) | 優勝 大阪市ジュネッサFC1st 準優勝 ガンバ大阪門真ジュニア1st 第3位 高槻FC1st 第4位 AVANTI茨木1st ※この4チームがニッポンハムカップ関西大会に出場 |

| | | |
|-------|------------------------------------|---|
| 事業コード | 006004 | |
| 事業名 | JFA 第42回全日本U-12サッカー選手権大会 大阪府大会中央大会 | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (公財)日本サッカー協会・(公財)日本体育協会・日本スポーツ少年団・読売新聞社 / (一社)大阪府サッカー協会 |
| | ② 担当 | 第4種委員会 |
| | ③ 日程 | 平成30年11月 |
| | ④ 場所 | 大阪府下全域 |
| | ⑤ 対象 | U-12以下の男女 |
| | ⑥ 目的 | 12月に行われる本大会(全国大会)の大阪府代表チームの決定 |
| | ⑦ 方式 | 4種リーグU12の結果を反映させたトーナメント方式 |
| | ⑧ 参加数 | 32チーム(約512名:32チーム×16名) |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:346,000円 実支出:480,172円 |
| | ⑩ 結果(成果) | 優勝/クリエイト 準優勝/大阪市ジュネッサFC ※この2チームが本大会に出場 |

| | | |
|-------|---------------------------------|---|
| 事業コード | 006005 | |
| 事業名 | JA全農杯チビリンピック2019小学生8人制サッカー大阪府大会 | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (一社)大阪府サッカー協会/第4種委員会 |
| | ② 担当 | 第4種委員会 |
| | ③ 日程 | 平成30年11月～平成31年2月 |
| | ④ 場所 | 大阪府下全域 |
| | ⑤ 対象 | 11歳以下の男女 |
| | ⑥ 目的 | 3ピリオド制により多くの選手に出場の機会を与える。関西大会への大阪府代表チーム(2チーム)を決定。 |
| | ⑦ 方式 | 8地区で予選を行い、勝ち上がった16チームによるトーナメント方式 |
| | ⑧ 参加数 | 117チーム(約2,340名:117チーム×20名) |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:870,500円 実支出:840,949円 |
| | ⑩ 結果(成果) | 優勝/ガンバ大阪ジュニア 準優勝/高槻南AFC ※この2チームがチビリン関西大会出場 |

| | | |
|-------|------------------------------|---|
| 事業コード | 006006 | |
| 事業名 | 三井のリハウス第25回大阪小学生サッカー大会(U-11) | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (一社)大阪府サッカー協会/第4種委員会 |
| | ② 担当 | 第4種委員会 |
| | ③ 日程 | 平成30年11月～平成31年2月 |
| | ④ 場所 | 大阪府下全域 |
| | ⑤ 対象 | 11歳以下の男女 |
| | ⑥ 目的 | 3月開催のフジパンカップ(関西大会)への大阪府代表チーム(4チーム)の決定 |
| | ⑦ 方式 | 8地区で予選を行い勝ち上がった32チームによるトーナメント方式 |
| | ⑧ 参加数 | 284チーム(約4,544名:284×16名) |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:2,588,000円 実支出:2,376,709円 |
| | ⑩ 結果(成果) | 優勝/DREAM FC 準優勝/八尾大正FC1st 第3位/AVANTI茨木FC1st 第4位/大宮JSC ※この4チームがフジパンカップ関西大会に出場 |

| | | |
|-------|---------------------|-------------------------------|
| 事業コード | 006007 | |
| 事業名 | スポーツデポカップ第2回大阪4年生大会 | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (一社)大阪府サッカー協会/第4種委員会 |
| | ② 担当 | 第4種委員会 |
| | ③ 日程 | 平成31年2月 |
| | ④ 場所 | 大阪府下全域 |
| | ⑤ 対象 | 10歳以下の男女 |
| | ⑥ 目的 | 10歳以下の年代へのサッカーの普及、育成 |
| | ⑦ 方式 | 4種リーグU10の結果を反映させたトーナメント方式 |
| | ⑧ 参加数 | 32チーム(約512人:32チーム×16名) |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:639,200円 実支出:312,148円 |
| | ⑩ 結果(成果) | 優勝/AVANTI茨木FC1st 準優勝/FC. ALBA |

| | | |
|-------|------------------------|---|
| 事業コード | 030019 | |
| 事業名 | 卒業記念サッカー大会MUFGカップ大阪府大会 | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | 三菱東京UFJフィナンシャル・グループ/(一社)大阪府サッカー協会 |
| | ② 担当 | 第4種委員会 |
| | ③ 日程 | 平成31年3月 |
| | ④ 場所 | 大阪府下全域 |
| | ⑤ 対象 | 12歳以下の男女 |
| | ⑥ 目的 | U-12年代最後の大会となる為、チームメイトとの絆を深め、中学年代のステージへと繋げる |
| | ⑦ 方式 | 8地区による予選を勝ち抜いたチームにより本大会を実施 |
| | ⑧ 参加数 | 32チーム(約640名:32チーム×20名) |
| | ⑨ 規模 | 972,000円(委託費) |
| | ⑩ 結果(成果) | 優勝/ガンバ門真ジュニア 準優勝/SSクリエイト |

9) 女子委員会事業

| | | |
|-------|------------------------------|--|
| 事業コード | 007002 | |
| 事業名 | 全日本女子ユース(U-15)サッカー選手権大会大阪府予選 | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (一社)大阪府サッカー協会/女子委員会 |
| | ② 担当 | 女子委員会 |
| | ③ 日程 | 平成30年4月28日、30日、5月3日、4日、5日、6日(6日間) |
| | ④ 場所 | J-GREEN堺他 |
| | ⑤ 対象 | U-15年代 |
| | ⑥ 目的 | 大阪府内における女子サッカーの技術向上と健全な心身の育成を図り、広く女子サッカーの普及振興に寄与することを目的とし、中学生・小学生年代の登録選手を対象とした単独チームの大会として実施する。条件が整えば合同チームでの参加も認める。 |
| | ⑦ 方式 | 4ブロックに分けて予選リーグを行い、上位チーム(8チーム)が決勝トーナメントに進出し、順位を決定する |
| | ⑧ 参加数 | 参加14チーム/選手350名 |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:841,900円 実支出:681,980円 |
| | ⑩ 結果(成果) | 第1位:AC.gloria girls 第2位:RESC GIRLS U-15 第3位:ヴィスボきやま 第4位:クラブリーナ東住吉 第5位:FCヴィトリア |

| | | |
|-------|------------------------|---|
| 事業コード | 007003 | |
| 事業名 | 皇后杯全日本女子サッカー選手権大会大阪府大会 | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (一社)大阪府サッカー協会/女子委員会 |
| | ② 担当 | 女子委員会 |
| | ③ 日程 | 平成30年6月23日～7月14日(6日間) |
| | ④ 場所 | J-GREEN堺他 |
| | ⑤ 対象 | 中学生以上 |
| | ⑥ 目的 | 大阪府内における女子のサッカーの頂点を決める大会。府内における女子サッカーの技術の向上と健全な心身の育成を図り、広く女子サッカーの普及振興に寄与することを目的とし、中学1年生以上の登録選手に参加する資格が与えられる単独チームの大会として実施。 |
| | ⑦ 方式 | 16チームによるノックアウト方式。3位決定戦、5位決定戦(関西大会出場チーム決定戦)を行う |
| | ⑧ 参加数 | 参加12チーム/選手307名 |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:1,083,600円 実支出:742,625円 |
| | ⑩ 結果(成果) | 第1位 大阪体育大学 第2位 大阪桐蔭高等学校 第3位 大商学園高等学校 第4位 追手門学院大学 |

| | | |
|-------|------------------------|---|
| 事業コード | 007004 | |
| 事業名 | 全日本女子ユースサッカー選手権大会大阪府予選 | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (一社)大阪府サッカー協会/女子委員会 |
| | ② 担当 | 女子委員会 |
| | ③ 日程 | 平成30年8月4日、25日(2日間) |
| | ④ 場所 | J-GREEN堺他 |
| | ⑤ 対象 | U-18年代 |
| | ⑥ 目的 | 大阪府内における女子サッカーの技術向上と健全な心身の育成を図り、広く女子サッカーの普及振興に寄与すること、そしてクラブチームのさらなる増加、活動の活性化を目的として、本大会を実施 |
| | ⑦ 方式 | 4チームによるトーナメント戦ノックアウト形式。3位決定戦を行う。 |
| | ⑧ 参加数 | 参加4チーム/選手120名 |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:327,000円 実支出:134,484円 |
| | ⑩ 結果(成果) | 第1位 セレッソ大阪堺ガールズ 第2位 コノミヤ・スベランツァ大阪高槻レディース 第3位 ヴィスボさやま |

| | | |
|-------|------------|---|
| 事業コード | 007005 | |
| 事業名 | 大阪少女サッカー大会 | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (一社)大阪府サッカー協会/女子委員会 |
| | ② 担当 | 女子委員会 |
| | ③ 日程 | 平成30年10月20日、11月10日・17日(3日間) |
| | ④ 場所 | J-GREEN堺他 |
| | ⑤ 対象 | U-12年代 |
| | ⑥ 目的 | U-12年代の女子のサッカーへの興味・関心を深め、サッカーの技術・理解と体力の向上、リスクベクトの精神を養い、クリエイティブでたくましい人間の育成をめざして開催する。また、将来に向けて大きく成長するための準備として、この年代にふさわしいゲーム環境を提供することにより、自ら成長していくことのできるようサポートする。子どもたちや周囲の大人が、サッカー、スポーツの素晴らしさに触れ、関わっていきけるよう文化として醸成していくことを目指す。 |
| | ⑦ 方式 | 予選リーグと決勝トーナメント形式で実施する。さらに決勝トーナメントに出ないチームには交流戦の機会を設ける。予選リーグでは1グループ3～4チームで4グループを編成しリーグ戦を実施する。予選リーグ各グループ上位2チーム(計8チーム)による決勝トーナメントを行い順位を決定。 |
| | ⑧ 参加数 | 日本サッカー協会4種で登録した女子小学生選手で構成されたチーム。チームは単独、補強、合同のうち、いずれの方法でも編成できる。22チーム/260名 |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:532,000円 実支出:313,737円 |
| | ⑩ 成果(結果) | 第1位:高石中央 第2位:セルバ北大冠 第3位:大阪ビオーネ 第4位:大阪市レディース 第5位:mfl filha |

| | | |
|-------|------------------|---|
| 事業コード | 007007 | |
| 事業名 | 大阪ウィメンズカップサッカー大会 | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (一社)大阪府サッカー協会/女子委員会 |
| | ② 担当 | 女子委員会 |
| | ③ 日程 | 平成30年12月15日・16日(2日間) |
| | ④ 場所 | J-GREEN堺 |
| | ⑤ 対象 | 中学生以上 |
| | ⑥ 目的 | 大阪の女子サッカーチーム及び女子選手の交流を図るとともに、サッカー技術の高揚と女子サッカーチームの普及発展に努め、サッカー競技人口の確保を図る |
| | ⑦ 方式 | 30分1本の試合形式で各チーム4本の交流戦を実施 |
| | ⑧ 参加数 | 260名 |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:394,400円 実支出:221,705円 |
| | ⑩ 結果(成果) | JFALレディースサッカーフェスティバルの位置付けで交流戦を実施。年代の垣根を超えて女子サッカーの普及交流効果が見られた。 |

| | | |
|-------|------------|---|
| 事業コード | 007010 | |
| 事業名 | ガールズサポート事業 | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (一社)大阪府サッカー協会/女子委員会 |
| | ② 担当 | 女子委員会 |
| | ③ 日程 | 平成30年12月・平成31年3月(2日間) |
| | ④ 場所 | J-GREEN堺他 |
| | ⑤ 対象 | U-12年代 |
| | ⑥ 目的 | 小学6年生の選手にサッカー技術の向上の場を提供するとともに、小学校卒業後も競技を続けていく意欲の向上 |
| | ⑦ 方式 | グループ別に練習、交流試合を実施 |
| | ⑧ 参加数 | 3回/延べ240名 |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:453,000円 実支出:140,520円 |
| | ⑩ 成果(結果) | キヤノンガールズエイト出場 JFATレセン大阪女子U-12・大阪府選抜ホワイト・大阪府選抜ライム・大阪府選抜レッド |

| | | |
|-------|--|--|
| 事業コード | 007011 | |
| 事業名 | キヤノン ガールズ・エイト第16回JFAガールズ・エイト(U-12)サッカー大会 | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (公財)日本サッカー協会 / (一社)大阪府サッカー協会女子委員会 |
| | ② 担当 | 女子委員会 |
| | ③ 日程 | 平成31年3月16日・17日 |
| | ④ 場所 | J-GREEN堺 |
| | ⑤ 対象 | U-12年代 |
| | ⑥ 目的 | 日本の将来を担う子どもたちのサッカーへの興味・関心を深め、サッカーの技術・理解を向上させると同時に、サッカーを通じて心身を鍛え、リスペクトの精神を養い、クリエイティブでたくましい人間の育成を目指し、その研修の場として本大会を開催する。小学生年代の活動の集大成、また中学生年代へのステップとして、小学6年生(U-12年代)の女子選手全員の目標となる大会として位置づける。 |
| | ⑦ 方式 | (予選)4チーム総当たりのリーグ戦(決勝トーナメント)各グループ上位2チーム計8チームによるノックアウト方式 |
| | ⑧ 参加数 | 関西6府県選抜チーム/計16チーム/選手272名 |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:855,000円 実支出:1,299,372円 |
| | ⑩ 成果(結果) | 第1位 JFATレセン大阪府女子U-12 第2位 兵庫県トレセン女子U-12 第3位 兵庫県阪神選抜 |

| | | |
|-------|---------------|--|
| 事業コード | 007013 | |
| 事業名 | 大阪女子U15ドリムリーグ | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (一社)大阪府サッカー協会/女子委員会 |
| | ② 担当 | 女子委員会 |
| | ③ 日程 | 平成30年5月～平成31年2月 |
| | ④ 場所 | J-GREEN堺他 |
| | ⑤ 対象 | U-15年代 |
| | ⑥ 目的 | U-15年代のリーグ戦環境を整えることで、多くの選手に公式戦の場を提供し、選手・指導者共に結果に対して分析を行いM-T-MIに挑戦しながら強化に繋げる |
| | ⑦ 方式 | 前期11チーム2ブロック、後期9チームに総当たりの年間リーグ |
| | ⑧ 参加数 | 参加延べ22チーム、選手550名 |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:1,128,200円 実支出:1,304,913円 |
| | ⑩ 結果(成果) | (前期)1部 第1位:RESC GIRLS U-15 1st 第2位:大阪桐蔭ACフラミングFC 第3位:mfl filfa fc 1st 2部 第1位:pazduro girls 第2位:mfl filfa fc 2nd 第3位:RESC GIRLS U-15 2nd (後期)1部 第1位:RESC GIRLS U-15 1st 第2位:大阪桐蔭ACフラミングFC 第3位:mfl filfa fc 1st 2部 第1位:RESC GIRLS U-15 2nd 第2位:FCヴェトーリア 第3位:クラブリーナ東住吉 |

| | | |
|-------|---------------|--|
| 事業コード | 007014 | |
| 事業名 | 大阪女子U15グラスルーツ | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (一社)大阪府サッカー協会/女子委員会 |
| | ② 担当 | 女子委員会 |
| | ③ 日程 | 平成30年4月～平成31年3月 |
| | ④ 場所 | J-GREEN堺他 |
| | ⑤ 対象 | U-15年代 |
| | ⑥ 目的 | U-12年代やU-15年代の選手対象に、U-15年代で継続的にサッカーが続けられるような環境や既存のチーム情報を提供する場の創出をしつつ、普及からU-15年代の登録選手減退の解消と登録の拡大を目的にクリニックやサッカー教室を開催する |
| | ⑦ 方式 | 地域別サッカークリニックの開催。指導者・プレー環境整備 |
| | ⑧ 参加数 | 選手・指導者延べ60名 |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:571,000円 実支出:232,366円 |
| | ⑩ 成果(結果) | 小学5年～中学3年女子向けガンバ大阪サッカー教室、女子サッカー交流会、高校女子サッカー視察を実施。 |

10) フットサル委員会事業

| | | |
|-------|---|---|
| 事業コード | 010002 | |
| 事業名 | Super Sports XEBIO大阪府フットサルリーグ2018(1部・2部・3部・女子・U-18) | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | 大阪府フットサル連盟 |
| | ② 担当 | 大阪府フットサル連盟 |
| | ③ 日程 | 平成30年4月～平成31年2月 |
| | ④ 場所 | ①大阪府 ②大阪府下の体育館 |
| | ⑤ 対象 | 男子、女子:フットサル1種登録の選手/U-18:フットサル2種登録の選手 |
| | ⑥ 目的 | 競技の普及と競技力向上 |
| | ⑦ 方式 | リーグ戦 |
| | ⑧ 参加数 | 1部/10チーム、2部/24チーム、3部/21チーム、レディース/6チーム、U-18/6チーム |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:13,637,800円 実支出:8,295,002円 |
| | ⑩ 結果(成果) | 1部優勝:パストゥーロ田辺 女子優勝:ヴィスボさやま U-18優勝:シュライカー大阪 |

| | | |
|-------|--|------------------------------|
| 事業コード | 010003 | |
| 事業名 | JFAバーモントカップ 第28回全日本U-12フットサル選手権大会 大阪大会 | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (一社)大阪府サッカー協会/フットサル委員会 |
| | ② 担当 | フットサル連盟(フットサル委員会) |
| | ③ 日程 | 平成30年4月28日～4月30日 |
| | ④ 場所 | ①大阪府大阪市 ②J-GREEN堺 大阪市立東淀川体育館 |
| | ⑤ 対象 | フットサル4種登録、またはサッカー4種登録のチーム |
| | ⑥ 目的 | 12歳以下の競技レベル向上と普及 |
| | ⑦ 方式 | リーグ戦とノックアウト方式の両方 |
| | ⑧ 参加数 | 25チーム |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:725,120円 実支出:506,722円 |
| | ⑩ 結果(成果) | 優勝:大阪市ジュネッサFC |

| | | |
|-------|-----------------------------|----------------------------|
| 事業コード | 010004 | |
| 事業名 | JFA第24回全日本U-15フットサル選手権 大阪大会 | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (一社)大阪府サッカー協会/フットサル委員会 |
| | ② 担当 | フットサル連盟(フットサル委員会) |
| | ③ 日程 | 平成30年7月15日～8月12日 |
| | ④ 場所 | 長居球技場北・南練習室 マグフットサルスタジアム |
| | ⑤ 対象 | サッカー、フットサル3種登録のチーム |
| | ⑥ 目的 | 15歳以下の競技レベル向上と普及 |
| | ⑦ 方式 | リーグ戦とノックアウト方式の両方 |
| | ⑧ 参加数 | 13チーム |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:367,820円 実支出:293,070円 |
| | ⑩ 結果(成果) | 優勝:ドリームFC |

| | | |
|-------|------------------------------|----------------------------|
| 事業コード | 010005 | |
| 事業名 | JFA第9回全日本U-15女子フットサル選手権 大阪大会 | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (一社)大阪府サッカー協会/フットサル委員会 |
| | ② 担当 | フットサル連盟(フットサル委員会) |
| | ③ 日程 | 平成30年6月16日～9月2日 |
| | ④ 場所 | 長居球技場北練習室 |
| | ⑤ 対象 | サッカー、フットサル3種登録の女子チーム |
| | ⑥ 目的 | 15歳以下の競技レベル向上と普及 |
| | ⑦ 方式 | リーグ戦と代表決定戦の両方 |
| | ⑧ 参加数 | 6チーム |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:304,920円 実支出:237,008円 |
| | ⑩ 結果(成果) | 優勝:パストゥーロ |

| | | |
|-------|---------------------------|-------------------------------------|
| 事業コード | 010006 | |
| 事業名 | JFA第15回全日本女子フットサル選手権 大阪大会 | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (一社)大阪府サッカー協会/フットサル委員会 |
| | ② 担当 | フットサル連盟(フットサル委員会) |
| | ③ 日程 | 平成30年7月8日～7月22日 |
| | ④ 場所 | キンチョウスタジアム北練習室、大阪成蹊大学体育館 |
| | ⑤ 対象 | フットサル1種、2種登録の女子チーム |
| | ⑥ 目的 | 女子の競技レベル向上と普及 |
| | ⑦ 方式 | リーグ戦と代表決定戦 |
| | ⑧ 参加数 | 5チーム |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:304,920円(U-15L含む) 実支出:237,008円 |
| | ⑩ 結果(成果) | 優勝:プログレッシブ大阪ヴァーヴ |

| | | |
|-------|------------------------------|----------------------------|
| 事業コード | 010007 | |
| 事業名 | JFA第5回全日本U-18フットサル選手権大会 大阪大会 | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (一社)大阪府サッカー協会/フットサル委員会 |
| | ② 担当 | フットサル連盟(フットサル委員会) |
| | ③ 日程 | 平成30年5月20日～5月24日 |
| | ④ 場所 | 長居球技場北・南 |
| | ⑤ 対象 | サッカー、フットサル2種登録のチーム |
| | ⑥ 目的 | 18歳以下の競技レベル向上と普及 |
| | ⑦ 方式 | リーグ戦と代表決定戦の両方 |
| | ⑧ 参加数 | 4チーム |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:164,960円 実支出:159,980円 |
| | ⑩ 結果(成果) | 優勝:清明学院高等学校A |

| | | |
|-------|---------------------------|----------------------------|
| 事業コード | 010008 | |
| 事業名 | JFA第14回全日本大学フットサル選手権 大阪大会 | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (一社)大阪府サッカー協会/フットサル委員会 |
| | ② 担当 | フットサル連盟(フットサル委員会) |
| | ③ 日程 | 平成30年6月30～7月14日 |
| | ④ 場所 | 大阪成蹊大学第一体育館 大阪市千島体育館 |
| | ⑤ 対象 | フットサル1種登録の大学チーム |
| | ⑥ 目的 | 大学生の競技レベル向上と普及 |
| | ⑦ 方式 | リーグ戦とノックアウト方式の両方 |
| | ⑧ 参加数 | 6チーム |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:342,300円 実支出:195,486円 |
| | ⑩ 結果(成果) | 優勝:大阪成蹊大学 |

| | | |
|-------|----------------------|--------------------------------|
| 事業コード | 010009 | |
| 事業名 | 第24回全日本フットサル選手権 大阪大会 | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (一社)大阪府サッカー協会/フットサル委員会 |
| | ② 担当 | フットサル連盟(フットサル委員会) |
| | ③ 日程 | 平成30年9月22日～11月4日 |
| | ④ 場所 | 大阪府下体育館 |
| | ⑤ 対象 | フットサル1種、2種登録のチーム |
| | ⑥ 目的 | 競技レベル向上と普及 |
| | ⑦ 方式 | リーグ戦とノックアウト方式の両方 |
| | ⑧ 参加数 | 36チーム |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:1,556,360円 実支出:1,222,709円 |
| | ⑩ 結果(成果) | 優勝:ミキハウスフットサルクラブ |

| | | |
|-------|------------------------|----------------------------|
| 事業コード | 010010 | |
| 事業名 | 第7回大阪府ユース(U-15)フットサル大会 | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (一社)大阪府サッカー協会/フットサル委員会 |
| | ② 担当 | フットサル連盟(フットサル委員会) |
| | ③ 日程 | 平成31年2月11日～2月17日 |
| | ④ 場所 | おおきにアリーナ舞洲 長居球技場南練習室 |
| | ⑤ 対象 | サッカー、フットサル3種登録のチーム |
| | ⑥ 目的 | 15歳以下フットサルチームの交流と普及 |
| | ⑦ 方式 | リーグ戦とノックアウト方式の両方 |
| | ⑧ 参加数 | 16チーム |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:954,800円 実支出:775,633円 |
| | ⑩ 結果(成果) | 優勝:IRIS生野 |

| | | |
|-------|--------------------------|----------------------------|
| 事業コード | 010010 | |
| 事業名 | 大阪府ジュニアフットサルチャレンジカップ2018 | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (一社)大阪府サッカー協会/フットサル委員会 |
| | ② 担当 | フットサル連盟(フットサル委員会) |
| | ③ 日程 | 平成30年9月23日～11月23日 |
| | ④ 場所 | 長居球技場北練習室 東淀川体育館 |
| | ⑤ 対象 | フットサル4種登録、またはサッカー4種登録のチーム |
| | ⑥ 目的 | 12歳以下フットサルチームの交流と普及 |
| | ⑦ 方式 | リーグ戦とノックアウト方式の両方 |
| | ⑧ 参加数 | 11チーム |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:954,800円 実支出:775,633円 |
| | ⑩ 結果(成果) | 優勝:P.S.CHILDREN |

| | | |
|-------|-----------------|--|
| 事業コード | 010011 | |
| 事業名 | 大阪府社会人男子選抜チーム活動 | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | 大阪府フットサル連盟 |
| | ② 担当 | 大阪府フットサル連盟 技術部会 |
| | ③ 日程 | 平成30年6月29日～9月23日 |
| | ④ 場所 | ①大阪府 ②大阪府下の体育館 |
| | ⑤ 対象 | フットサル1種またはフットサル2種に登録された選手 |
| | ⑥ 目的 | 男子選手の競技力向上、全国選抜大会に出場 |
| | ⑦ 方式 | 練習会または選考会の実施、大会参加 |
| | ⑧ 参加数 | 最終的に15名、選考会に80名 |
| | ⑨ 規模 | ※選抜活動全体 支出予算:6,112,500円 実支出:2,147,771円 |
| | ⑩ 結果(成果) | 全国選抜大会(長崎県、9月21日～23日)3位 |

| | | |
|-------|-----------------|--------------------------------|
| 事業コード | 010011 | |
| 事業名 | 大阪府社会人女子選抜チーム活動 | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | 大阪府フットサル連盟 |
| | ② 担当 | 大阪府フットサル連盟 技術部会 |
| | ③ 日程 | 平成30年10月21日～12月23日 |
| | ④ 場所 | ①大阪府 ②大阪府下の体育館 |
| | ⑤ 対象 | フットサルに登録された女子選手 |
| | ⑥ 目的 | 女子選手の競技力向上、全国女子選抜大会(トリムカップ)に出場 |
| | ⑦ 方式 | 練習会または選考会の実施、大会参加 |
| | ⑧ 参加数 | 最終的に15名、選考会に40名 |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:6,112,500円 実支出:2,147,771円 |
| | ⑩ 結果(成果) | 関西大会(12月23日、和歌山市)グループリーグ敗退 |

| | | |
|-------|------------------|--|
| 事業コード | 010011 | |
| 事業名 | 大阪府U-18男子選抜チーム活動 | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | 大阪府フットサル連盟 |
| | ② 担当 | 大阪府フットサル連盟 技術部会 |
| | ③ 日程 | 平成31年1月19日～2月9日 |
| | ④ 場所 | ①大阪府 ②大阪府下の体育館 |
| | ⑤ 対象 | フットサル1種またはフットサル2種に登録された18歳以下の選手 |
| | ⑥ 目的 | 18歳以下の男子選手の競技力向上、関西U-18選抜交流会に出場 |
| | ⑦ 方式 | 練習会または選考会の実施、大会参加 |
| | ⑧ 参加数 | 最終的に14名、選考会に40名 |
| | ⑨ 規模 | ※選抜活動全体 支出予算:6,112,500円 実支出:2,147,771円 |
| | ⑩ 結果(成果) | 関西フットサル交流戦(2月9日、加古川市)準優勝 |

| | | |
|-------|--|----------------------------|
| 事業コード | 010015 | |
| 事業名 | Supersports XEBIO CUP in大阪/大阪府女子フットサルフェスティバル2018 | |
| 事業内容 | ① 主催/主管 | (一社)大阪府サッカー協会/フットサル委員会 |
| | ② 担当 | フットサル連盟(フットサル委員会) |
| | ③ 日程 | 平成31年1月20日 |
| | ④ 場所 | JG堺 屋根付きフットサルコート |
| | ⑤ 対象 | 一般参加含む女子チーム |
| | ⑥ 目的 | 女子選手の競技レベル向上と普及 |
| | ⑦ 方式 | リーグ戦とノックアウト方式の両方 |
| | ⑧ 参加数 | 合計7チーム |
| | ⑨ 規模 | 支出予算:954,800円 実支出:775,633円 |
| | ⑩ 結果(成果) | 優勝:コノミヤ エスベランツァ大阪高槻レディースB |

III 登録費徴収事業

(1) 事業開催の趣旨

本事業は、(公財)日本サッカー協会・関西サッカー協会、及び(一社)大阪府サッカー協会を運営していくために、加盟登録団体・選手・審判個人から協会を維持していくために必要な費用を徴収する事業。

IV JFAアカデミー堺管理・運営事業

(1) 事業開催の趣旨

能力の高い者に良い環境を与え、長期的視野に立ち集中的に育成することにより、サッカー競技はもちろん、人間的な面の教育を重視し、将来社会をリードしていける人材、常に何事にも積極的に行動し、自信に満ちた人間形成の育成を目的とし、将来の日本女子サッカー界をリードして行く人材を育成する事業。

生徒数

女子中学1年生 12名

女子中学2年生 12名

女子中学3年生 12名

指導者数 5名

生徒の行動

月曜日から金曜日は、堺市の中学校にJグリーンの寄宿舎から通学し、勉学に励み、寄宿舎に帰ってから、サッカーの技術の習得と学校での予習復習に励む。週末は自宅に帰り、地元の所属サッカーチームにて試合等の経験を積む。

V 宿泊施設管理・運営事業(DREAMCAMP)

(1) 事業開催の趣旨

J-GREEN堺の利用者の利便性を図る目的で設置した宿泊施設の管理・運営事業で、すべての業務を業者に委託して行っている事業。

宿泊施設利用実績数 36,376名

VI サッカー場の管理・運営

(1) 万博・大阪グラウンド管理運営業務(OFA万博フットボールセンター)

大阪府より有償(1,000万円/年間)で借用しているグラウンドを貸与する貸し出し業務の管理運営を行う業務。

本協会が主催・主管・後援する大会、競技会を優先的に使用し、その後、公開で一般使用を受け付ける。

グラウンドの管理・運営業務・使用料徴収業務・グラウンド使用券発行・グラウンド管理業務。

(2) J-GREEN堺の指定管理団体に参画中(2015年4月より5年間)

J-GREEN堺の指定管理団体のジェイズパークグループに参画、2面増設した人工芝グラウンド(S15、S16:OFA堺フットボールセンター)を有効活用し、(一社)大阪府サッカー協会が所有する宿泊施設、DREAM CAMPとの一体的運営を図っている。

VII マーケティング事業 ～大阪府下43市町村に人工芝グラウンドを～

ACTION FOR DREAMの協賛企業・賛助個人・団体・協賛スポンサー等の協賛金は、28,278千円。大阪情報誌(ACTION)の発行、大会運営費に充当。

① 発刊月 6月・9月・12月・3月

② 対象 大阪府サッカー協会登録者・会員を中心に配布、大阪府下のスポーツ施設等に設置し広く府民に対して情報提供。

③ 目的 サッカーに対する関心の向上と活動告知・報告の強化により、より多くの方の協会事業に関心を持っていただき会員増加を図る。

④ 内容 各種別委員会・リーグ及び関係会社などサッカーに関わる方により編集制作を推進。

⑤ 規模 発行部数5万部×4年/年¥9,500,000

【附属明細書】

平成30年度事業報告書には、事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していない。